

修理・お取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〒

電話 —

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記 TOTO 窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口

修理を依頼する前に「故障かな？と思ったら」(P.54～56)をご確認ください。
お問い合わせの際は、商品名・品番をご連絡ください。



商品のお問い合わせは

TOTO (株) お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）



修理のご用命は

安心・信頼の

TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへ

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～18:00



交換部品・別売品
ご購入は

TOTO メンテナンス (株) TOTO パーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 10:00～18:00

（夏期休暇・年末年始を除く）

※インターネットでの部品購入は TOTOWeb ショップへ（24 時間受付）

<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>



お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。

詳細は TOTO ホームページをご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のウォシュレットの点検を！



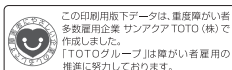
こんな症状は
ありませんか？

- 水漏れする（配管接続部、ウォシュレット本体）
- ウォシュレット本体や便座にひびや割れが入っている
- 異常な音やこげ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- ウォシュレット本体や操作部が異常に熱い
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ず TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターにご相談ください。

※ 異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。



TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>

2019.9.4
D07314

TOTO

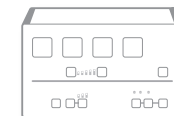
ウォシュレット® KS

「ウォシュレット」は TOTO 株式会社の登録商標です。

取扱説明書 施工説明書付

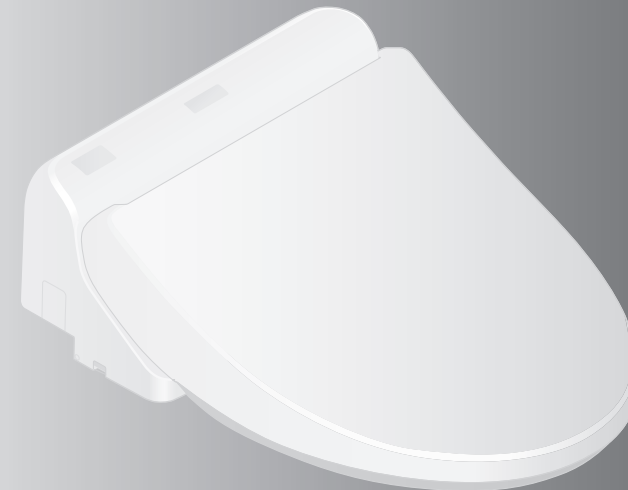
有料で延長保証できます。

57 ページ



washlet®

TCF8GS33型



- このたびは、本製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書に、取付店名、取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

ご使用の製品名・品番を
ご確認ください。

製品名・品番を
便ふた裏に記載しています。

製品名
品番



あなたの製品で使える機能は？

機能		製品名(機種)	KS	参照ページ
		品番	TCF8GS33型	
基本機能	洗う	おしり洗浄	●	30
		やわらか洗浄		
		ビデ洗浄		
	洗いかた を変える	水勢調節	●	34・35
		ムーブ洗浄		
	温度を変える	温度調節	●	34・35
せ い け つ 機 能	においをとる	脱臭	●	32・33
便 利 機 能	便座を温める	暖房便座	●	—
	便座の温度などを 下げて節電する	おまかせ節電	●	36・37
		タイマー節電		
お 手 入 れ す る		ウォシュレット本体 ワンタッチ着脱	●	42
		便ふた着脱		43
		ノズルそうじ		44
		抗菌		58



自動でせいけつ機能がはたらきます。
(詳しくは P.32・33)

座る	立ち上がる
便器内の においをとる	脱臭 オートパワー脱臭

もくじ

安全上のご注意	4	はじめに
使用上のお願い	7	
各部のなまえ	8	

取り付けかた	9	取り付け
●施工の流れ	9	
●取り付け前のご注意	10	
●試運転をする	29	

基本の使いかた	30	使いかた
自動でできること	32	
脱臭		
温度調節(便座/温水)	34	
節電機能	36	

お手入れ	40	お手入れ
●電源プラグ	40	
●ウォシュレット本体	41	
●本体のすき間	42	
●ノズル	44	
ノズルそうじ		
●脱臭フィルター	44	
●給水フィルター付水抜栓	45	

設定を変える	46	必要なとき
こんなときは	50	
●断水で水が流せないとき	50	
●リモコンで操作できないとき	50	
●脱臭が弱くなったとき	51	
●凍結予防をするとき	52	
●長期間使わないとき	53	
故障かな?と思ったら	54	
アフターサービス	57	
仕様	58	
重大事故防止のお願い	59	
交換部品/別売品	60	
製品の安全使用/ご愛用者登録	61	
定期的な点検	62	

安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。



注意

傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。



してはいけない
禁止の内容です。



必ず実行していただく
強制の内容です。

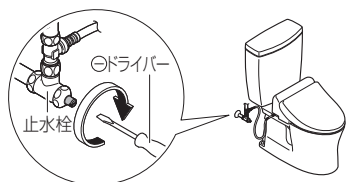


警告

故障したままで
使いつづけない！

■故障したときは…

- 電源プラグを抜き、止水栓を閉める



- 故障とは
配管や製品からの水漏れ、ひび割れ、異音や異臭、発煙、製品が異常に熱い、便座クッションのはずれ、便器の詰まりなど
- 故障したまま使いつづけると
火災、感電、発熱、ショート、けがや室内浸水の原因になります。

■設置するときは…

- 車両や船舶などの移動体に設置しない
(火災、感電、ショート、故障や、便座、便ふた、ウォシュレット本体などがはずれて落下することによるけがの原因)

■お使いのときは…

- 飲用可能な水以外は使わない
(故障や皮膚の炎症などの原因)

■お使いのときや

お手入れ、点検のときは…

- ウォシュレット本体や電源プラグに、水やお湯、洗剤をかけない
(火災や感電、発熱、ショート、製品の割れによるけがや室内浸水の原因)

■お手入れや点検のときは…

- 逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は、定期点検する
(水が逆流し、人体に影響をおよぼす原因)
⇒アフターサービス
「定期点検のすすめ」(P.57)

火災、感電、
発熱、ショートを
防ぐために

■電源コード、電源プラグなどは…

- ぬれた手で抜き差ししない
- 雷が発生しているときは、触れない
- 破損するようなことをしない
 - ・引っ張る、ねじる、無理に曲げる、傷をつける、加工する、加熱する、重いものを載せる、束ねる、挟み込む、など
- ガタついているコンセントは使わない
- コンセントや配線器具の定格を超えて使わない
 - ・たこ足配線など
- 指定の電源(交流100V)以外で使わない
- 給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない
(結露などによる、火災や感電の原因)

- 電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
 - ・プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
 - ・コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。
- コンセントに差し込む際、電源プラグにアース線を挟み込まないようにする
(ショートの原因)

■設置するときは…

- 浴室など、湿気の多い場所に設置しない
- アース(D種接地)工事は、必ずする
(故障・漏電時の感電の原因)
・工事はお近くの工事店に依頼してください。

■お使いのときや、 お手入れ、点検のときは…

- タバコなど、火気類を近づけない
- 分解や修理、改造はしない

■お手入れや点検のときは…

- (ウォシュレット本体を取りはずすときなど)
- 必ず電源プラグをコンセントから抜く
(感電や誤作動による故障の原因)

身体への影響を
防ぐために

■お使いのときは…

- 便座に長時間座らない
(低温やけどの原因)
・低温やけどを防ぐために、次のようなかたが使うときは、周囲のかたが、便座の温度を「切」にしてください。
[自分で温度調節できないかた]
お子様、お年寄りなど、病気のかた、身体の不自由なかた
[眠り込むおそれのあるかた]
かぜ薬など眠気を誘う薬の服用、深酒、疲労の激しいかたなど
- 化学療法を受けているかた、免疫不全症のかたなど、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けているかたは、ご使用に際し医師に相談する
・身体への著しい障がいをおそれる場合があります。
- 電池の液が漏れて、身体や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流す
(目や皮膚の障がいをおそれる原因)



注意

水漏れや
室内浸水を
防ぐために

■施工するときは…

- 施工は施工説明書に従って確実に進行
(正しく取り付けないと水漏れ・感電の原因)

■水漏れが発生したときは…

- 止水栓を閉める

■お使いのときは…

- 給水ホースを曲げない、つぶさない、カッターなどで傷つけない
- 使ったあとは、必ず水を流す
(便器が詰まることにより、汚水があふれて室内浸水したり、便器洗浄不良になる原因)
- 便器が詰まったときは、電源プラグを抜き、詰まりをとる
・市販の詰まり除去用の器具(商品名：ラバーカップなど)を使ってください。
- 便器やタンク、給水管や止水栓の結露は、かわいた布でふき取る
(結露水が、床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれ)
・トイレの換気を行うと、結露にくくなります。

■お手入れのときは…

- 止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が噴き出す原因)
- 給水フィルター付水抜栓を取りはずした場合は、確実に締める

■外気温が0℃以下になるときは…

- 凍結による破損の予防をする
(ウォシュレット本体内部や給水配管が凍結すると、内部の部品が破損し、水漏れの原因)
・水抜きを行ってください。
・暖房するなどしてトイレを暖めてください。

安全上のご注意 (つづき)



注意

けがを
防ぐために

■お使いのときは…

- 破損部はさわらない
- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない
(ウォシュレット本体がはずれて落下するおそれ)
- ウォシュレット本体がガタついた状態で使用しない
(ウォシュレット本体がはずれて落下するおそれ)
- 座る動作に障がいのある方がご使用になる場合は、便座の固定部を専用部品に取り替える (有料)
⇒ TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへ
- ウォシュレット本体は、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで確実に押し込む
 - ・ 軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。
(ウォシュレット本体がはずれて落下するおそれ)

次のことにもご注意ください

■お使いのときは…

- 強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない
(割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下することによるけがの原因。製品が破損して、けがや室内浸水の原因)
- 電池の＋表示をよく確かめて入れる
- 使い切った電池は、早めに取り出す
- 電池を交換するときは、
 - ・ 2本同時に新しい電池と入れ替える
 - ・ 新しい電池2本の銘柄をそろえる
[銘柄の指定なし]
 (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因)

■お手入れのときは…

- プラスチック部分 (ウォシュレット本体など) や給水ホースは、うすめた台所用中性洗剤を使う
 - ・ トイレ用や住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわなどは使わない
(故障やプラスチックを傷め、割れてけがや、給水ホースが傷むと水漏れの原因)

■長期間使わないときは…

- 止水栓を閉めて水を抜き、安全のため電源プラグを抜く
 - ・ 再使用時は、一度通水してから使ってください。
(火災や発熱、故障や腐敗した水による皮膚の炎症の原因)
- リモコンから電池を取り出しておく
(電池の液漏れの原因)

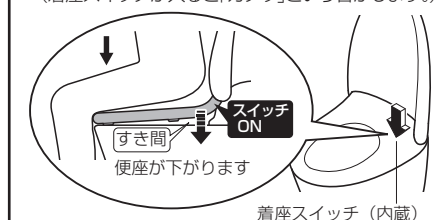
使用上のお願い

■誤作動などを防ぐために

- リモコン送信部・受信部をふさがない

＜着座スイッチについて＞

- 便座に座ると着座スイッチが入り、各機能が使えます。
(着座スイッチが入ると「カチッ」という音がします。)



- 便座に深く腰かけてください。
便座に浅く座ると着座スイッチが入らない場合があります。



お知らせ

- ・ 体重の軽いお子様が使用されるときは、着座スイッチが入りにくい場合があります。
- ・ 便座が上下する構造のため、便座クッションと便器の間にすき間を設けています。

■正しくお使いいただくためのご注意

- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
(目安: 約10秒～20秒) また、局部内は洗わないでください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

■傷つきや破損を防ぐために

- ウォシュレット本体、リモコンなどプラスチック部分は、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく



- 便ふたに寄りかからない



■誤作動や故障を防ぐために

- 落雷の可能性があるときは、電源プラグを抜いておく
- 便座・便ふたカバーは取り付けできません。
(着座スイッチが正常に検知しなくなる原因)



- トイレ室内に冷暖房器具を設置するときは、ウォシュレット本体に冷暖房の風や熱が直接当たらないようにしてください。
(安全装置が誤作動する原因)
- ウォシュレット本体や便座、ノズルに小便をかけない (故障や変色の原因)
- リモコンの操作面に強い力を加えない
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておく
 - ・ 便器に残った洗剤はふき取ってください。
(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入ることによる、故障の原因)
- 便ふたをはずしたまま使用しない
 - ・ 便ふたを取りはずしてご使用になる場合は、別途スプレーサーが必要です。
TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへご連絡ください。(裏表紙)
- 直射日光を当てない
(変色や暖房便座の温度ムラ、リモコンでの作動不良、温度変化によるウォシュレット本体の誤作動の原因)
- ラジオなどは、ウォシュレット本体から離して使う
(ラジオに雑音が入る原因)
- 幼児用補助便座、やわらかく補高便座などは、使用後取りはずす
(取り付けたままだと、一部の機能が使えない原因)
- 便座・便ふたの上にものを置かない、手で押さえない
(着座スイッチが入り、リモコンのボタンに触れたときノズルから温水が出て、床などをぬらす原因)

水まわり用車いすをご使用の方へ

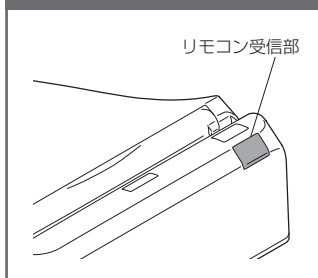
設定の変更が必要です。

⇒ お問い合わせはTOTO (株) お客様相談室へ

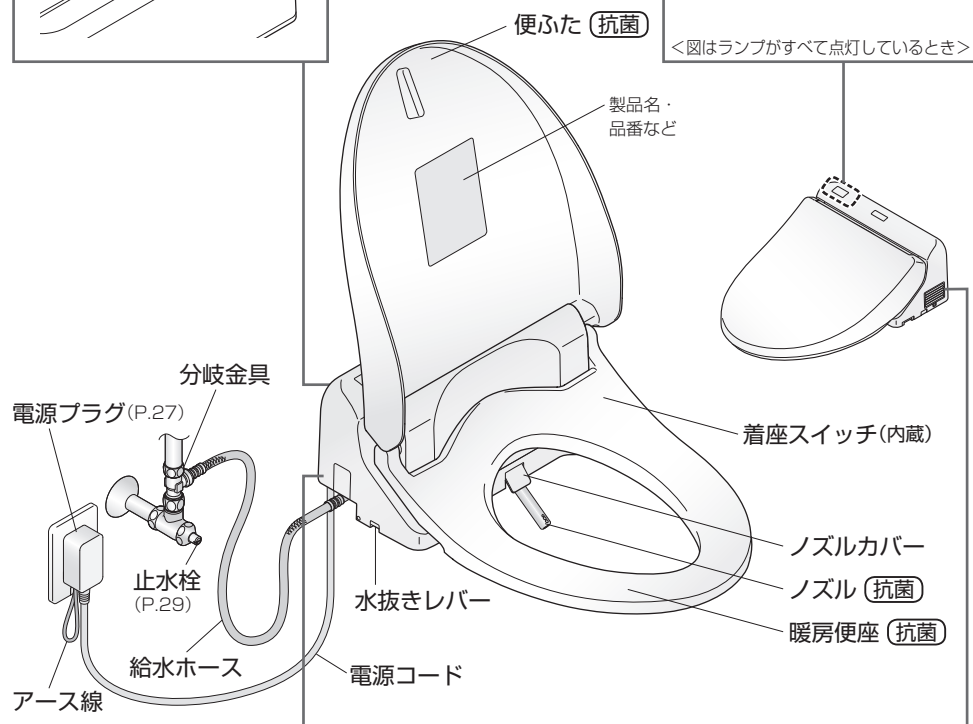
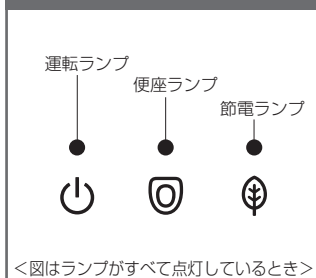
はじめに

各部のなまえ

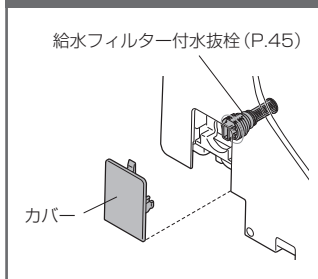
ウォシュレット本体左後方部



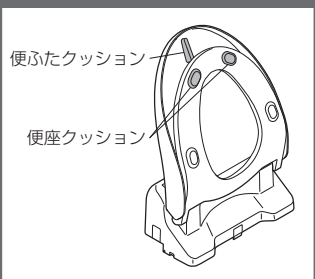
ウォシュレット本体表示部



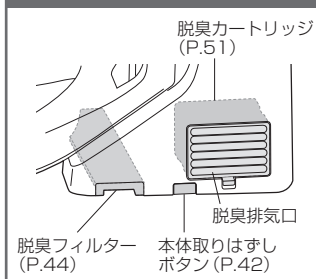
ウォシュレット本体左側面



便ふた・便座裏面



ウォシュレット本体右側面



取り付けかた

施工説明書をよくお読みいただき、手順に従って正しく取り付けください。
安全上のご注意、使用上のお願い (P.4 ~ 7) を必ずお守りください。

施工の流れ

- 同梱部品の確認
- 取り付け前のご注意
1. 「施工タイプ」を選択する (A B C D タイプがあります)
2. 水道の元栓を閉める
3. 便座の取りはずし
4. 既設の分岐金具の取りはずし
A B C D
5. ウォシュレット本体の取り付け
6. 分岐金具の接続
A B C D
7. 電源 (アース線) の接続
8. リモコンの取り付け
9. 試運転をする

動画を見る

施工イメージ

<http://su.toto.com/hcfzw>

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



●使用するもの

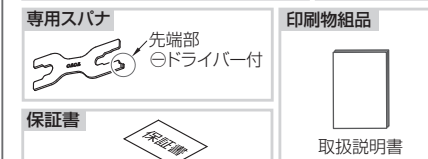
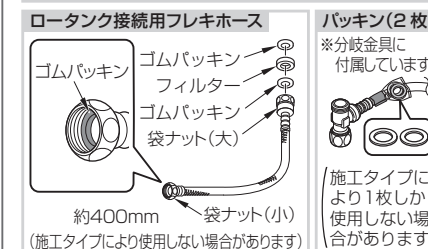
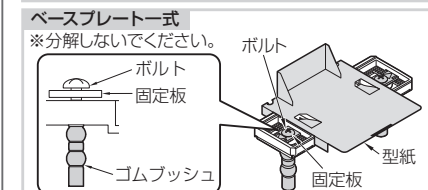


●必要に応じて用意するもの

- 電気ドリル
- ハンマー
- ドリル歯 6 (鉄工ドリルまたはコンクリートドリル)
- パイプカッター (フレキホースを使用せず既設の給水管を切断するときに使用)

同梱部品の確認

同梱部品



取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※製品が取り付けられない、または作動しない原因になります。

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。
- 便器に取り付ける前に、通電しないでください。故障の原因になります。
- ホース類および分岐金具の先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流 100V (50/60Hz)、定格消費電力 1268W です。
- 電源コードの長さは約 1m です。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力範囲は 0.05MPa(流動時)～0.75MPa(静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は 0～35℃ です。この温度範囲でご使用ください。
- 既存の分岐金具、パッキンを使わないでください。
- ボルトナットで取り付けられている便座 (TOTO 製) を取りはずす場合
モンキーレンチなどで便座が取りはずせない場合があります。
→別売品の「便座締付工具」をお買い求めいただくこともできます。(P.13)

※ 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け前に確認してください。

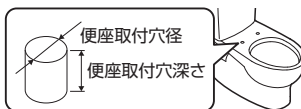
別売品のお求めは TOTO メンテナンス (株) TOTO パーツセンターへご連絡ください。

TEL 0120-8282-55 FAX 0120-8272-99

別売品の仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1 他社製便器に取り付ける場合、便座取付穴をご確認ください。

便座取付穴の深さと径が右表の場合は、同梱のベースプレート固定部材だけで施工しないでください。ウォシュレット本体のはすれ防止のための専用部材をご購入ください。



便座取付穴		品番
深さ (mm)	径	
36 以下	φ19～21	TCA312
36～80	-	-
70～110	(測定不要)	TCA310

2 給水ホースの長さは適切ですか？

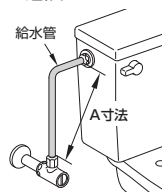
給水ホースの長さは約 950mm です。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホース長さ	品番
1180mm	TCA344
1480mm	TCA345
1980mm	TCA346

■ 隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、別売品の中継アダプタ (品番: TCA58R) が必要です。

3 ロータンク接続用のフレキホースの長さは適切ですか？

同梱のフレキホースの長さは約 400mm です。長さの合わないホースを無理に折り曲げて使用すると水漏れの危険があります。下記 A 寸法に合った長さのホースを選んでください。



ロータンク接続用フレキホース長さ違い一覧		
A 寸法 (mm)	フレキホース長さ	品番
120～150	200mm	TCA61-2R
150～200	450mm	TCA61-1N
200～250	300mm	TCA61-3R
250～400	400mm	同梱のフレキホースで取り付けできます。

A 寸法が 150～200mm の場合 450mm のフレキホースをループさせてご使用ください。

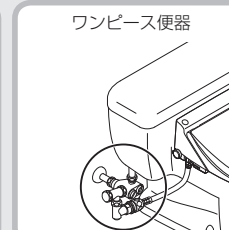
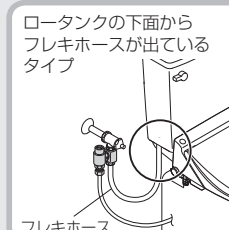


1. 「施工タイプ」を選択する

製品の違いやメーカーの違いによって、止水栓、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。

Step 1

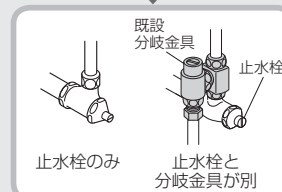
給水位置の確認



Step 2

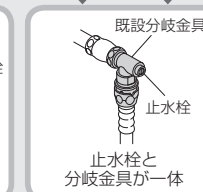
止水栓と分岐金具の確認

止水栓の形状や向きは様々なタイプがありますが、取り替えかたの手順は同じです。形状や向きではなく、止水栓と分岐金具の取り付け方で施工タイプをお選びください。



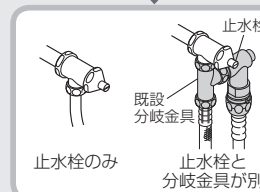
施工タイプ

A



施工タイプ

B



施工タイプ

C



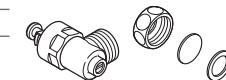
施工タイプ

D

右記の別売品のご購入が必要です。

●分岐金具

品番 TCA358



◎給水コンセントへの接続

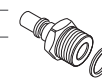


※機種によってはコンセントの位置などが異なります。

■必要な別売品

●アダプタ

品番 TH778S



●ふさぎナット

品番 TH651



◎寒冷地の場合

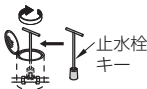
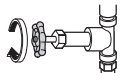
専門業者による取り付けが必要です。お近くの販売店または TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへご連絡ください。→ P.57

※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 水道の元栓を閉めるへ P.12へ

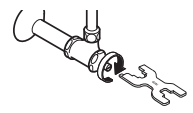
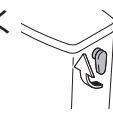
2. 水道の元栓を閉める

元栓を閉めるときは、ガス給湯器や洗濯機などの使用を止めてください。

水道メーターと一体になった元栓の場合	埋込み式の元栓の場合	マンションなどの場合
メーターボックスの止水栓を閉める 	止水栓キーなどで閉める 	玄関入口横の扉の中などにあります。 

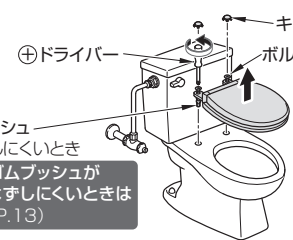
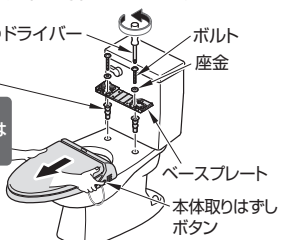
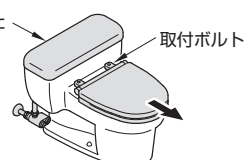
元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

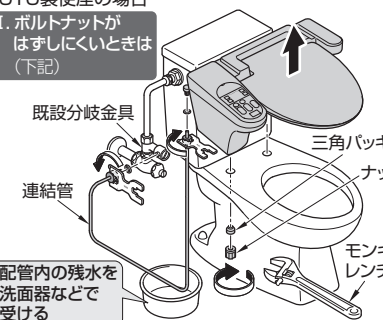
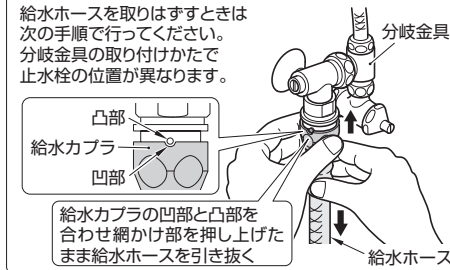
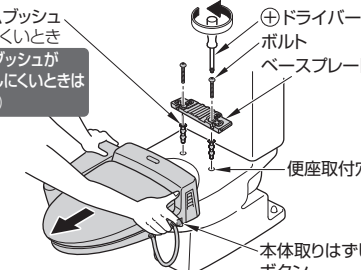
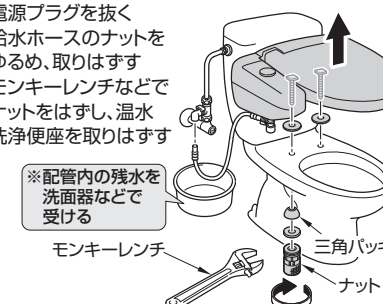
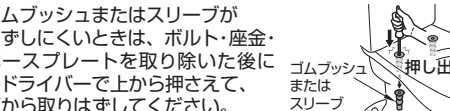
3. 便座の取りはずし

- 1 止水栓を閉める 
- 2 ロータンクの水を抜く
(給水管の圧抜き) 
- 3 現在ご使用の便座を確認し、便座を取りはずす

普通便座・
暖房便座(ウォームレット)の場合

温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合

ボルトナットで便座が取り付けられている場合	ゴムブッシュで便座が取り付けられている場合
①モンキーレンチなどでナット(左右2個)をはずし、便座を取りはずす ※金属ナットがさびてゆるまないときは、市販のスプレー剤をご使用ください。 ※TOTO製便座の場合 → I. ボルトナットがはずしにくいときは(P.13) 	①キャップをはずす ②ボルトを④ドライバーでゆるめてはずし、便座を取りはずす 
ベースプレートで便座が取り付けられている場合 (便座右側に本体取りはずしボタンがあります)	ワンピース便器に便座が取り付けられている場合
①右側の本体取りはずしボタンを押したまま本体を手前に引く ②ベースプレートのボルトを④ドライバーでゆるめて取りはずす 	①タンク下側のナット(左右2個)をゆるめて便座を取りはずす ※便器の種類によっては、タンク内にナットがあります。 タンクふたをはずして、ナットをゆるめて便座を取りはずしてください。 

TOTO ウォシュレット(代表例を示す)	
ボルトナットで取り付けられている場合	ベースプレートで取り付けられている場合 (ウォシュレット本体右側に本体取りはずしボタンがあります)
※ワンピース便器の場合も手順は同じです。 ①電源プラグを抜く ②連結管のナットをゆるめ、取りはずす ③モンキーレンチなどでナットをはずし、ウォシュレット本体を取りはずす ※TOTO製便座の場合 → I. ボルトナットがはずしにくいときは(下記)  ※配管内の残水を洗面器などで受ける	①電源プラグを抜く ②ウォシュレットの給水ホースを分岐金具から取りはずす 給水カプラタイプの給水ホースのはずしかた 給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。分岐金具の取り付けかたで止水栓の位置が異なります。  ③右側の本体取りはずしボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く ④ベースプレートのボルトを④ドライバーでゆるめて取りはずす ※はずしにくいとき → II. ゴムブッシュがはずしにくいときは(下記)  ご注意 既設のベースプレートは製品が取り付けられない、または作動しない原因になります。必ず同梱のものを使用してください。
TOTO ウォシュレット以外(代表例を示す)	
①電源プラグを抜く ②給水ホースのナットをゆるめ、取りはずす ③モンキーレンチなどでナットをはずし、温水洗浄便座を取りはずす ※配管内の残水を洗面器などで受ける 	I. ボルトナットがはずしにくいときは 現在ご使用の便座がTOTO製の場合は、便座を取りはずす専用の工具をお買い求めいただくこともできます。 ●便座締付工具 品番 TCZ3Y  II. ゴムブッシュがはずしにくいときは ゴムブッシュまたはスリーブがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に④ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。 

4. 既設の分岐金具の取りはずしへ

※施工タイプの確認は P.11

施工タイプ A P.14へ

施工タイプ C P.16へ

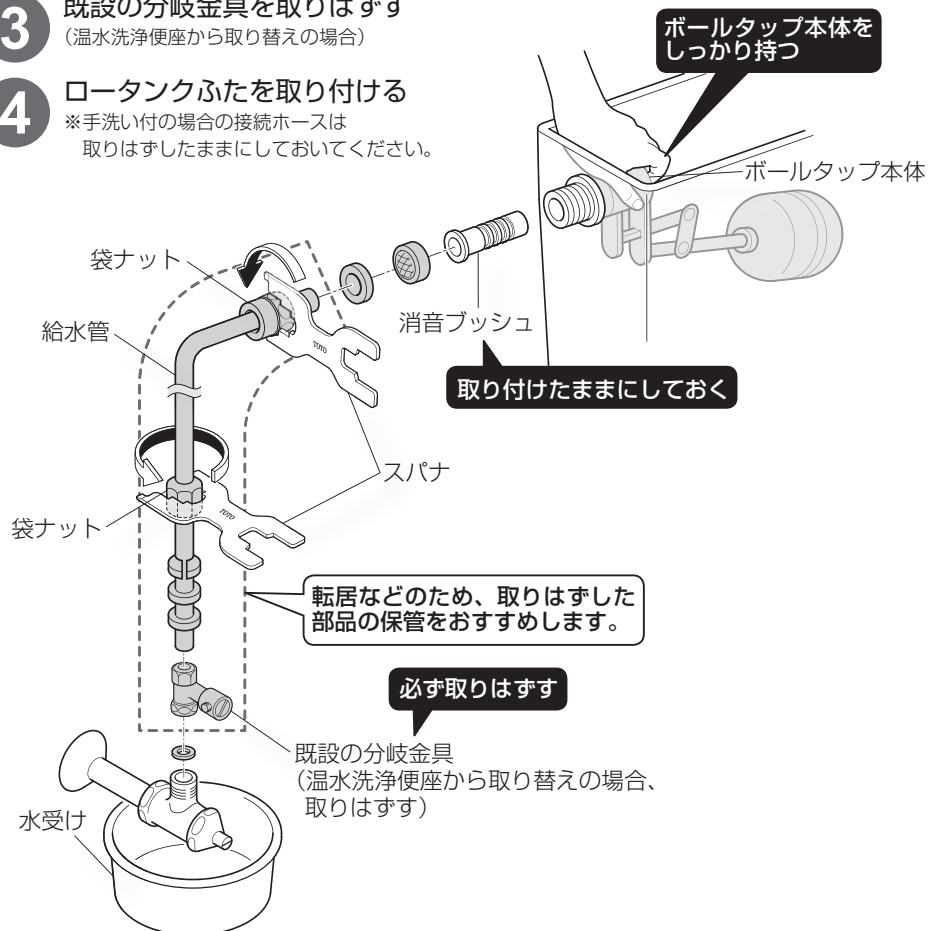
施工タイプ B P.15へ

施工タイプ D P.17へ

4. 既設の分岐金具の取りはずし 施工タイプ A

既設の
給水管を 取りはずす

- 1 ロータンクふたを取りはずす
※手洗い付の場合は接続ホースを取りはずしてください。
- 2 上下の袋ナットをゆるめ、給水管を取りはずす
- 3 既設の分岐金具を取りはずす
(温水洗浄便座から取り替えの場合)
- 4 ロータンクふたを取り付ける
※手洗い付の場合の接続ホースは
取りはずしたままにしておいてください。

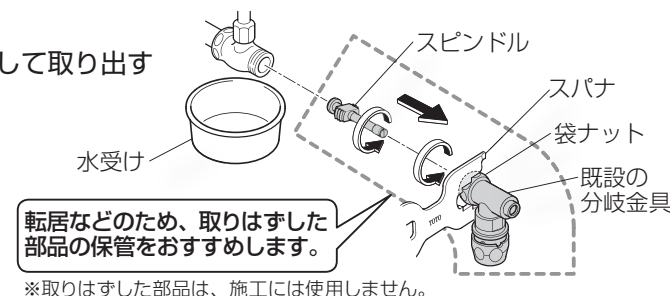


5. ウォシュレット本体の取り付けへ P.18へ

4. 既設の分岐金具の取りはずし 施工タイプ B

既設の
分岐金具を 取りはずす

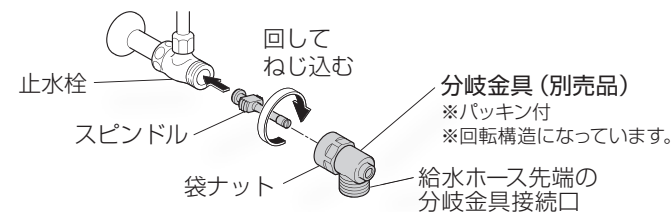
- 1 袋ナットをゆるめ、既設の分岐金具を取りはずす
- 2 スピンドルを回して取り出す



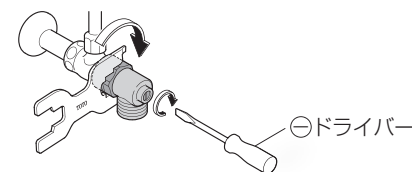
別売品の
分岐金具を 取り付け

※別売品の分岐金具 (TCA358) をお求めください。(P.11)

- 1 別売品の分岐金具からスピンドルを引っ張って取りはずし、
止水栓の奥までねじ込む
- 2 スピンドルに別売品の分岐金具を通す



- 3 袋ナットを締め付けたあと、止水栓を閉める



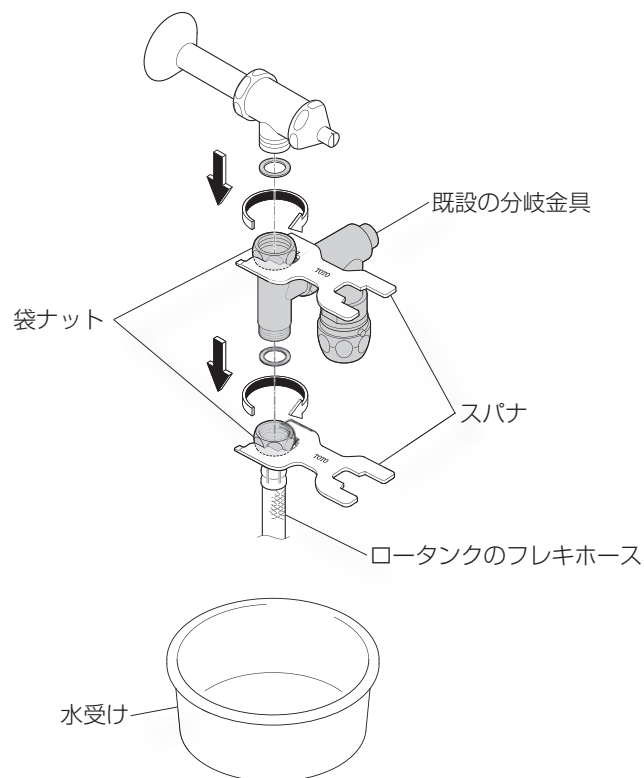
5. ウォシュレット本体の取り付けへ P.18へ

4. 既設の分岐金具の取りはずし 施工タイプ C

既設の分岐金具を **取りはずす**

※止水栓のみの場合は、5. ウォシュレット本体の取り付けへ (P.18)

1 上下の袋ナットをゆるめ、既設の分岐金具を取りはずす

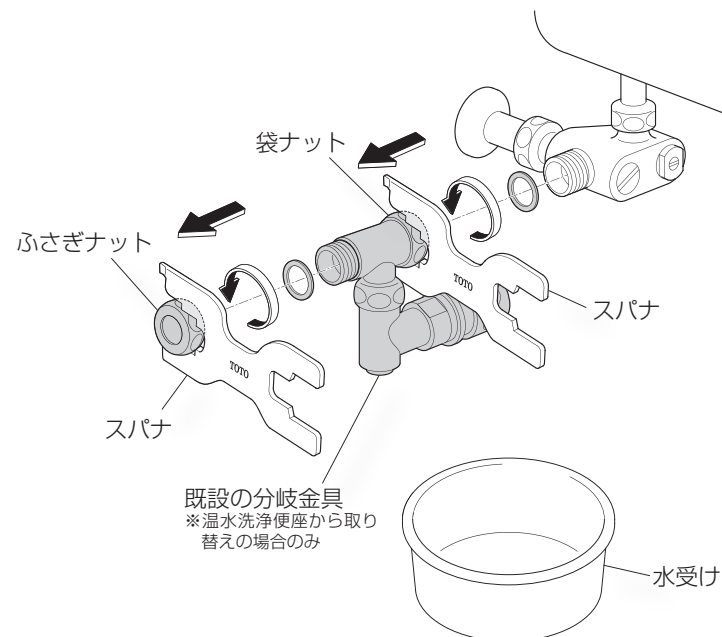


5. ウォシュレット本体の取り付けへ P.18へ

4. 既設の分岐金具の取りはずし 施工タイプ D

既設の分岐金具を **取りはずす**

1 袋ナットをゆるめ、既設の分岐金具とふさぎナットを取りはずす



5. ウォシュレット本体の取り付けへ P.18へ

5. ウォシュレット本体の取り付け

同梱のベースプレートを 取り付ける

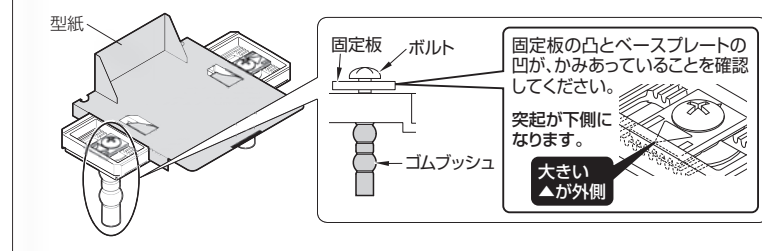
※ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。
製品が取り付けられない、または作動しない原因になります。

1 型紙を組み立てる

※組み立てかたは型紙に書いています。

注意 ベースプレートを分解しないでください。

万一分解したり、部品がはずれたりした場合は下図の順序で組み付けをおこなってください。

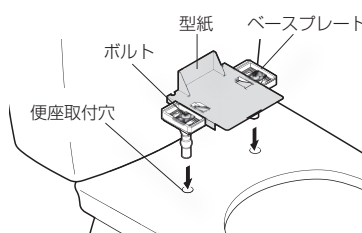


2 ボルト式を便座取付穴に押し込む (左右 2カ所)

ボルトが入らないときは、ゴムプッシュの表面を水でぬらすと差し込みやすくなります。

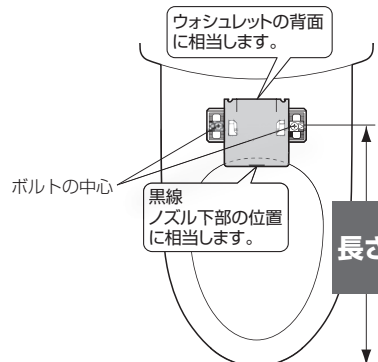
※他社製便器に取り付ける場合、便座取付穴の形状を確認してください。

→ P.10 「取り付け前のご注意」へ



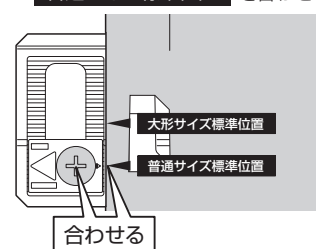
3 ボルトの中心から便器先端までの長さをメジャーで測定する

約 47cm または約 44cm を確認



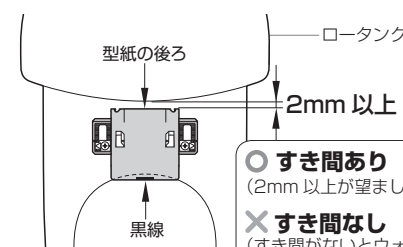
約 44cm 普通サイズ便器の場合

①ボルトの中心と型紙の
普通サイズ標準位置 を合わせる



※ボルトを④ドライバーでゆるめ固定板をつまんでから位置をずらしてください。

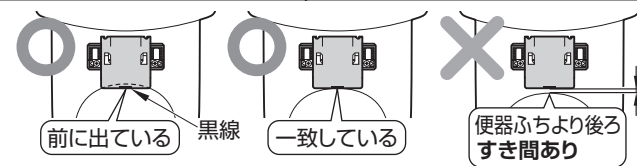
②ロータンクと型紙の後ろにすき間があることを確認する



○ **すき間あり**
(2mm 以上が望ましい)

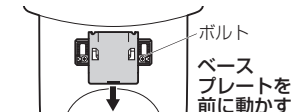
✕ **すき間なし**
(すき間がないとウォシュレットの取り付けができません。)

③型紙の黒線が右図のように便器のふちより前に出ているか、または一致していることを確認



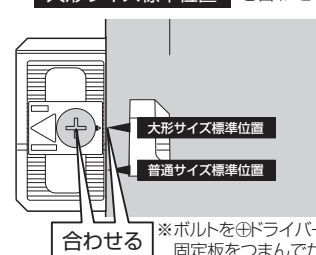
②③が片方でも✕の場合

右図のようにベースプレートを動かしてすべての条件が○になるようにしてください。



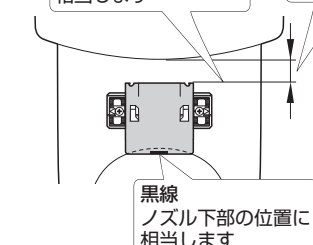
約 47cm 大形サイズ便器の場合

①ボルトの中心と型紙の
大形サイズ標準位置 を合わせる



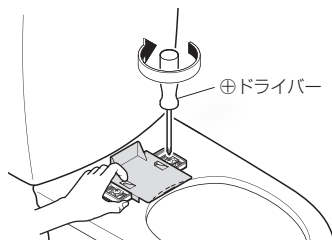
※ボルトを④ドライバーでゆるめ固定板をつまんでから位置をずらしてください。

ウォシュレット背面に相当します ※ここにすき間があいても問題ありません。

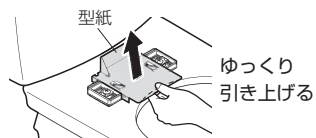


同梱のベースプレートを取り付け

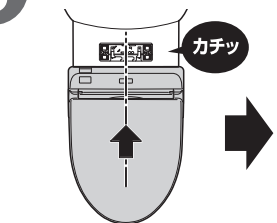
- 4 便器にベースプレートを仮固定する**
 合わせた位置がずれないように手でベースプレートをしっかり押さえ、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締めてください。



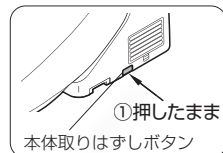
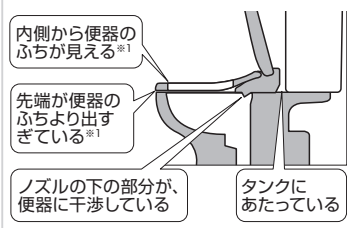
- 5 型紙を取りはずす**
 ※転居などのために取りはずした型紙の保管をおすすめします。



- 6 ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行い、再度取りはずす**



■次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整しなおしてください。→ P.18

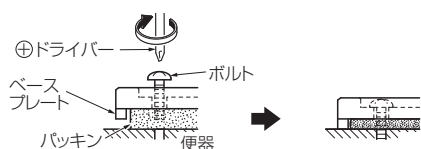


②ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む
 ※まっすぐ取り付いているか確認してください。

- ウォシュレット本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これはウォシュレット本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。
 - 便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、ウォシュレット本体を取りはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。
- ※ 1 普通サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。

- 7 ボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける**
 取り付け後、ベースプレートがしっかり固定されているか確認してください。



ウォシュレット本体を取り付ける

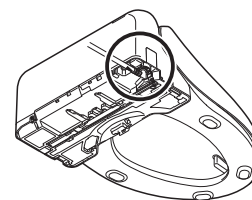
※長さ違いの給水ホースを取り付ける場合は、ウォシュレット本体を取り付ける前に行ってください。

- 8 ウォシュレット本体を取り付ける**
 ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む
 ※まっすぐ取り付いているか確認してください。

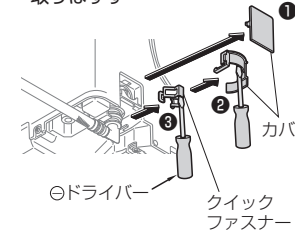


ウォシュレット本体を取り付けたあとは、手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



- ① 給水ホースを取りはずす**
 ①カバーとクイックファスナーを取りはずす

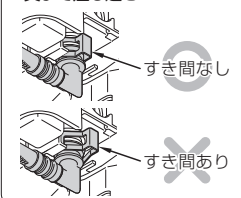


注意

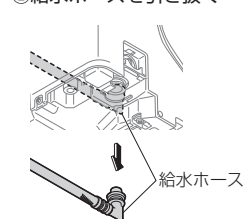
※ウォシュレット本体に傷を付けないように布などを置いて作業する

※取りはずすときに部品に傷を付けないようにする

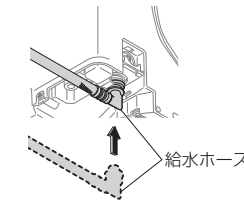
※取り付けるときはすき間なく、奥まで差し込む



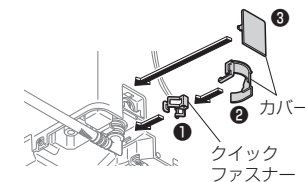
- ② 給水ホースを引き抜く**



- ② 給水ホースを取り付ける**
 ①給水ホースを差し込む



- ② カバーとクイックファスナーを取り付ける**



6. 分岐金具の接続へ

※施工タイプの確認は P.11

施工タイプ A P.22へ

施工タイプ C P.25へ

施工タイプ B P.24へ

施工タイプ D P.26へ

6. 分岐金具の接続

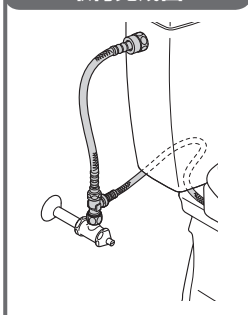
施工タイプ A

給水ホース先端の分岐金具・
ロータンク接続用フレキシホースを

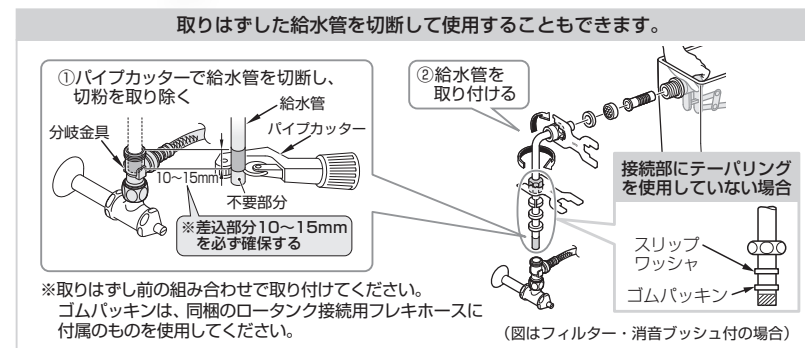
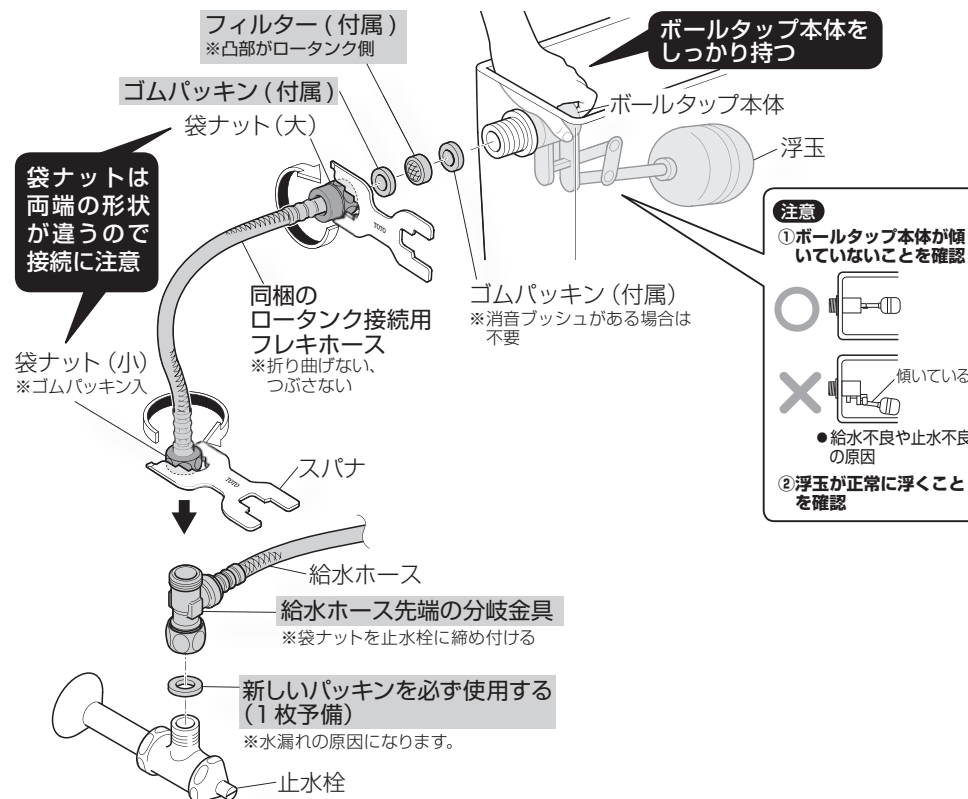
取り付ける

※右ページの図をご参照ください。

取付完成図



- 1 ロータンクふたを取りはずす
- 2 給水ホース先端の分岐金具を止水栓に取り付ける
※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。
※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.20））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.10）
- 3 ロータンク接続用フレキシホースの袋ナット（大）を締め付けたあとに袋ナット（小）を取り付ける
※フレキシホースをまっすぐにした状態でナットを締め付けてください。
- 4 ロータンクふたを取り付ける
※手洗い付の場合は接続ホースを取り付けてください。

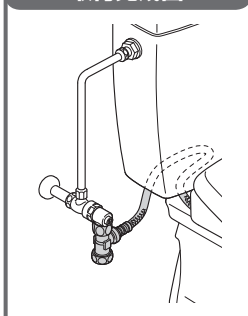


7. 電源（アース線）の接続へ P.27へ

6. 分岐金具の接続 施工タイプ B

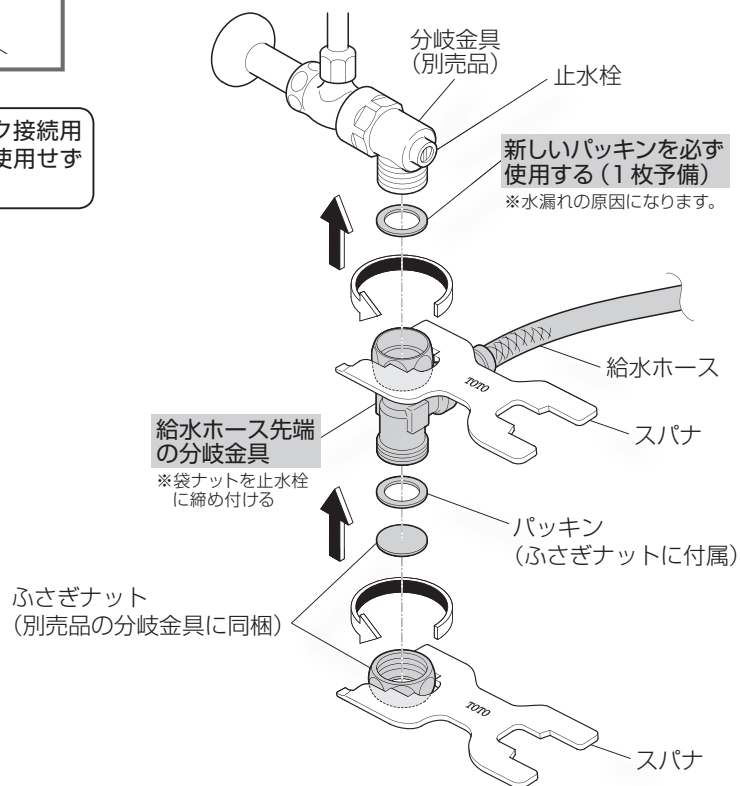
給水ホース先端の分岐金具・**取り付け**
ふさぎナットを

取付完成図



同梱のロータンク接続用
フレキホースは使用せず
に施工できます。

- 1 給水ホース先端の分岐金具を別売品の分岐金具に取り付ける
※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。
※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.20））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.10）
- 2 ふさぎナットを取り付ける

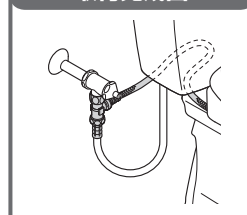


7. 電源（アース線）の接続へ P.27へ

6. 分岐金具の接続 施工タイプ C

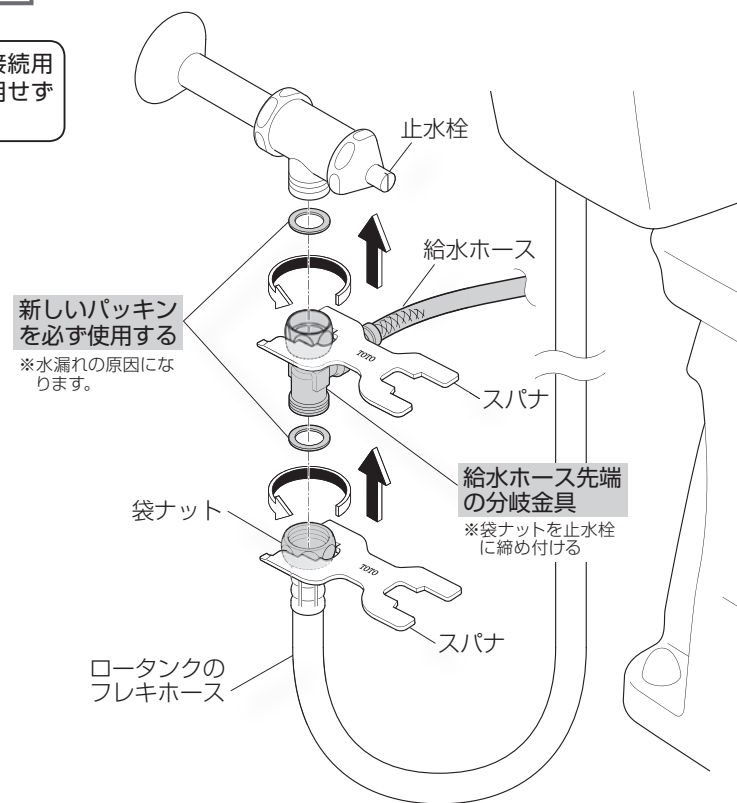
給水ホース先端の分岐金具を**取り付け**

取付完成図



同梱のロータンク接続用
フレキホースは使用せず
に施工できます。

- 1 給水ホース先端の分岐金具を止水栓に取り付ける
※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。
※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.20））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.10）
- 2 ロータンクのフレキホースの袋ナットを締め付ける



7. 電源（アース線）の接続へ P.27へ

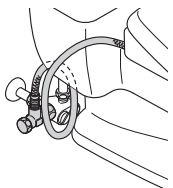
取り付け

6. 分岐金具の接続

施工タイプ **□**

給水ホース先端の
分岐金具を 取り付ける

取付完成図



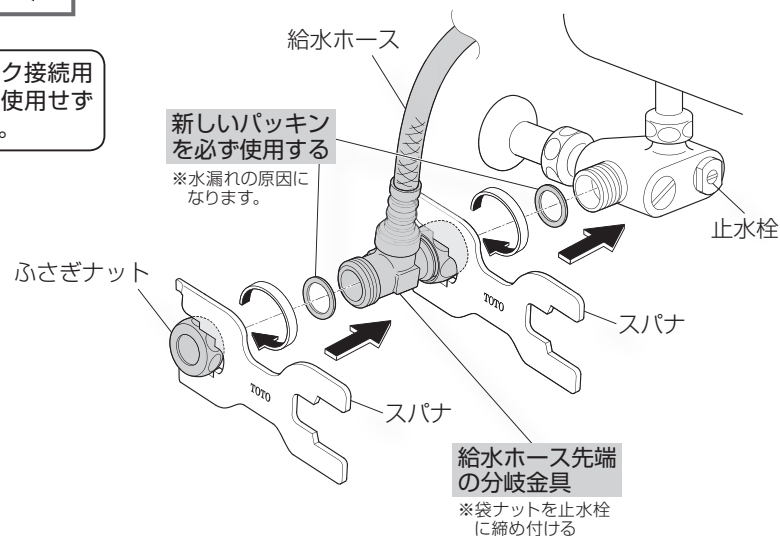
1 給水ホース先端の分岐金具を止水栓に取り付ける

※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。

※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.20））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.10）

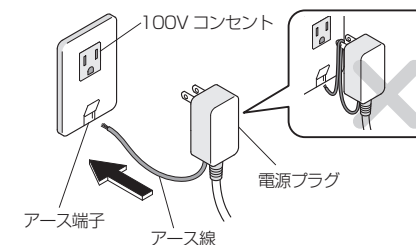
同梱のロータンク接続用
フレキホースは使用せず
に施工できます。



7. 電源（アース線）の接続

1 アース線をアース端子に接続する

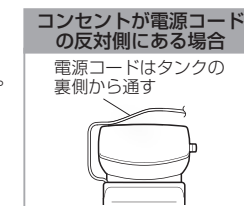
※アース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。



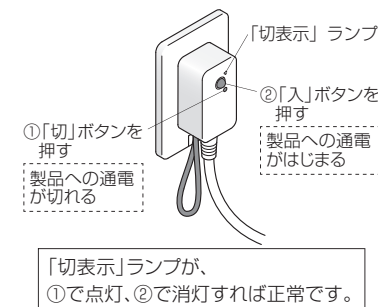
2 電源プラグを差し込む

（ノズルがいったん出て戻る）

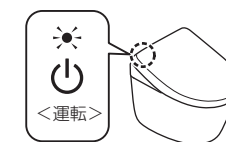
※アース線を挟み込まないように注意してください。
（ショートの原因）



3 電源プラグの作動確認をする※¹



4 ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプの点灯を確認する



※¹ 電源プラグには、製品内部で漏電が起きたときに、製品への通電を切る「漏電保護機能」がついています。正しく作動するか確認してください。

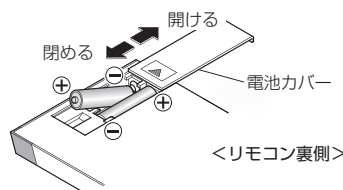
7. 電源（アース線）の接続へ P.27 へ

8. リモコンの取り付けへ P.28 へ

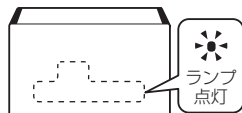
8. リモコンの取り付け

1 リモコンに電池を入れる

※同梱の乾電池を使用してください。



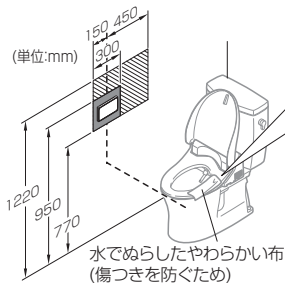
・乾電池を正しくセットすると、リモコンの全ランプが約2秒間点灯します。



2 取り付け位置を決める

※らくらくリモコンを併設する場合は、らくらくリモコンの施工説明書をご確認ください。

- 取付位置の目安
- 使いやすい位置の目安



【作動の確認】

- 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる
- 「おしり」ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する
- 「止」ボタンを押す

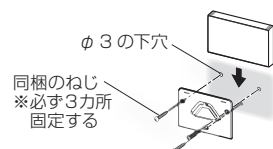


作動しない場合

- リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
 - 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
 - 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
 - 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
 - インバーター方式の照明下のとき

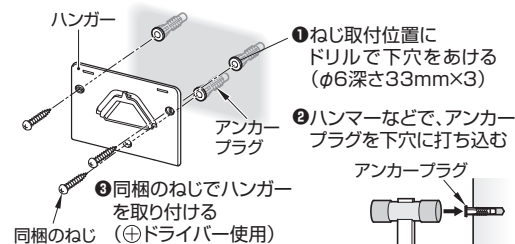
3 ハンガーを取り付ける

※リモコンをハンガーからははずすときは、両側を両手で持ち、真上に引き上げてください。



同梱のねじ
※必ず3カ所
固定する

【石膏ボードやタイル・コンクリート壁への取り付け】 付属のアンカープラグを使ってハンガーを取り付ける



※石膏ボードに取り付ける際は、ねじの締め付けがはじめはかたく、いったんゆるくなって再びややかたくなります。ややかたくなるまでしっかりと締め付けてください。

9. 試運転をする

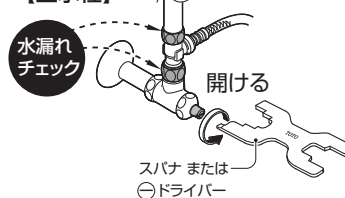
次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。

1 水漏れの点検

※万一水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- 水道の元栓を開く
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
(長さ違いの給水ホースの取り付けをされた場合)

【止水栓】



【ロータンク】



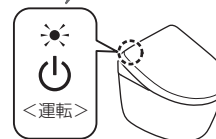
【ウォシュレット本体】



2 ウォシュレット本体表示部の確認

- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯していますか
 - ※「運転」ランプが点滅しているとき
 - ・同梱のベースプレートに取り替えましたが
 - 取り替えていない場合は、同梱のベースプレートに取り替えてください。(P.18)

ここで確認！



3 機能の確認

- ノズルから洗浄水が出ますか



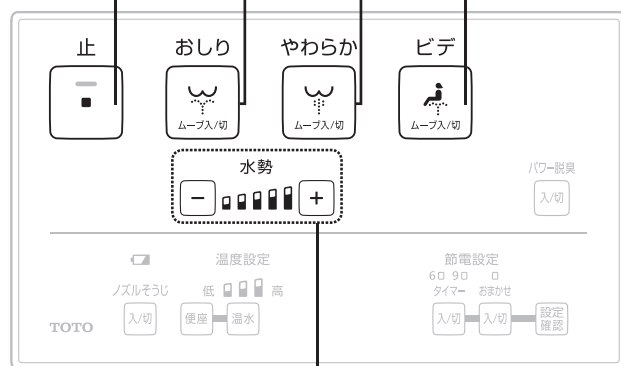
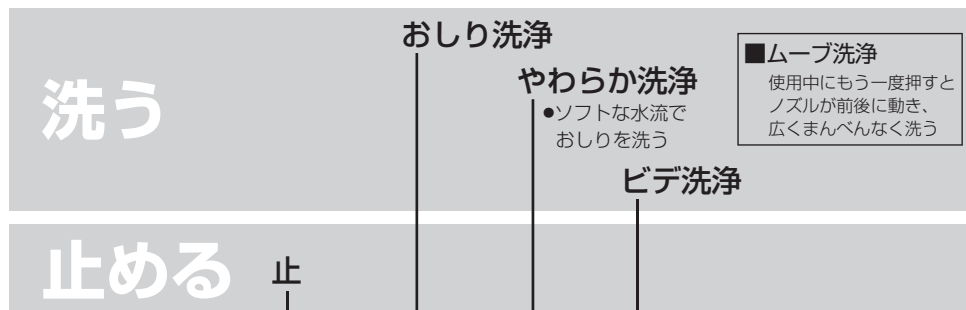
9. 試運転をするへ P.29へ

リモコンに貼る点字シールを
無料で準備しています。

ご希望のかたは、TOTO ホームページ
「カタログ請求」よりご請求ください。
<TOTO ホームページ><https://jp.toto.com>
インターネット環境がない場合は
TOTO(株)お客様相談室へご相談ください。(カタログ No.1529)

基本の使いかた

リモコンのボタンを押してウォシュレット本体が信号を受け付けると、電子音が鳴ります。



●「おしり」「やわらか」「ビデ」使用中にボタンを押すと使える機能です。

お知らせ

●便座に深く腰かけると、洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

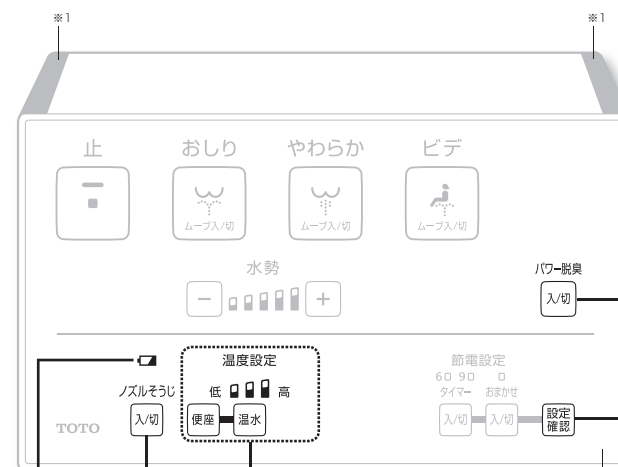
■水勢調節

水勢を5段階で調節

●水勢調節ボタンを押すと、設定した位置で約10秒間点灯



●洗浄ボタン（おしり・やわらか・ビデ）を押したときも、設定した位置で約10秒間点灯



■パワー脱臭ボタン

ボタンを押すと、吸い込む力をアップしてにおいをとる
●便座に座らないと、使えません。
●切らずに立ち上がったときは、約2分後に自動で止まります。

■設定確認ボタン

現在の設定をランプで確認できます。

電池切れ
予告マーク
(P.50)

温度設定/温度調節ランプ (P.34)
●温度調節するとき

ノズルそうじボタン (P.44)
●ノズルを出してお手入れするとき

表面シート^{※2}

※1 リモコン送信部

※2 表面シート、ボタンは「抗菌」です。

おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄について

- おしり洗浄・やわらか洗浄は、排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- ビデ洗浄は、生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- おしり・やわらか・ビデとも洗浄時間は約10秒～20秒を目安にご使用ください。

●リモコンに貼る点字シールを、無料で準備しています。
→詳しくは、29ページをご覧ください。

自動でできること

自動機能が搭載されています。
・以下は、初期設定での動きです。

便器に
近づく



便座に
座る ※1



便座から
立ち上がる



■お知らせ

■お好みの設定に 変えるには

便器内のおいをとる
脱臭



脱臭開始



オートパワー脱臭開始
(約10秒後)
→約2分後に自動で止まる

・脱臭フィルターは定期的にお手入れが必要です。(P.44)

・「脱臭」の入/切
・「オートパワー脱臭」の
入/切
(すべてP.48)

※1 お湯を出す準備のために、ノズル付近から数秒間水が出ます。

温度調節

便座 / 温水

高温・中温・低温の3段階と、「切」の設定ができます。



押したボタンの
温度段階を表示

温水ボタン (温水温度を調節したいとき)
便座ボタン (便座温度を調節したいとき)

便座温度が
設定されているとき



便座温度が「切」のとき



温度を調節する

1 設定したい温度のボタン **便座** ・ **温水** を選んで押す

・現在の温度の段階が表示される

2 手順 **1** で選んだボタンを
お好みの温度の段階になるまで繰り返し押す

1回押すたびに切り替わる



温度調節ランプは、約10秒以上ボタンを押さない時間が続くと、設定を記憶したまま消灯します。
設定の途中で温度調節ランプが消灯したときは、手順1からやり直してください。

<設定完了>

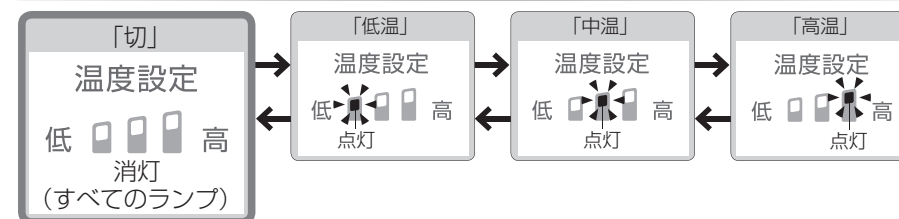
便座、温水※1の温度を「切」にする

1 「切」に設定したい温度のボタン **便座** ・ **温水** を選んで押す

・現在の温度の段階が表示される

2 手順 **1** で選んだボタンを
温度の段階が「切」になるまで繰り返し押す

1回押すたびに切り替わる



<設定完了>

※1 「切」のときでも、結露防止制御のため、温水温度が20℃以下になることはありません。

●温度調節しても、便座が温かくなるとき
→節電が「入」になっていませんか？ (P.36)

使
い
か
た

節電機能

種類

節電は「おまかせ節電」と「タイマー節電」があります。
便座の温度を下げて（または「切」にして）節電します。

●「おまかせ節電」は、あまり使わない時間帯を見つけるまでに、約10日かかります。



種類		こんなときに	節電を設定したとき	節電がはたらいているとき		AM										PM				
			ウォシュレット本体表示部		便座ヒーター		0	4	6	8		5	9	0						
自動で節電	おまかせ節電	ウォシュレットに自動で節電してもらいたい あまり使わない時間帯をウォシュレットが 見つけ、自動で便座温度を下げます。	点灯 (緑色) ● ● ● ● ● ● ● ● ●	→	消灯 ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● 低温	例：PM9:00からAM6:00頃まであまり使用しない場合 ●													

●節電がはたらいているとき（便座ヒーター「低温」または「切」）でも、便座に座ると約15分間で設定温度になります。（ウォシュレット本体表示部は、節電を設定したときのランプ表示に戻ります。）

※1 P.34で設定した便座温度です。

※2 便座ヒーターが「低温」になる時間帯です。

※3 便座ヒーターが「切」になる時間帯です。

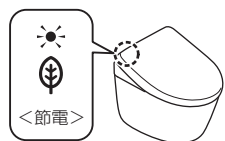
使いかた

節電の設定は P.38・39



タイマー節電
ボタン

おまかせ節電
ボタン

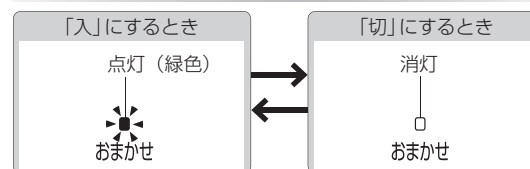


節電を設定すると「節電」ランプが点灯（緑色）します。

おまかせ節電

1 おまかせ
入/切 を押す

押すたびに切り替わる



タイマー節電

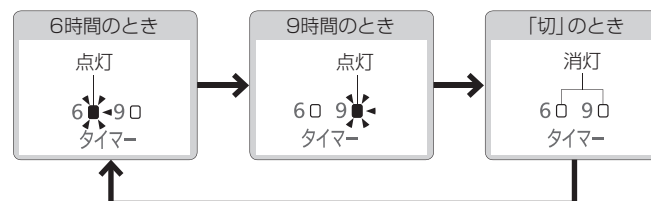
●節電を開始したい時間に設定を行ってください。

例：午前1時から7時まで（6時間）節電をするとき

1 午前1時になったら、
タイマー
入/切 を押す

・「6」のランプが点灯するまで繰り返し押す

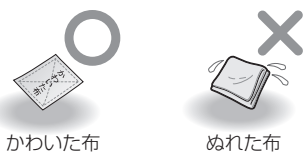
押すたびに切り替わる



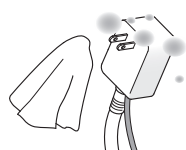
お手入れ

電源プラグ

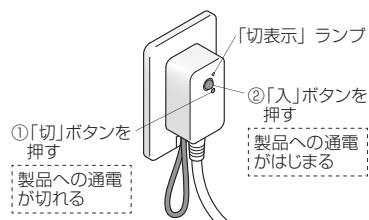
電源プラグ (目安: 月に1回)



1 電源プラグを抜き、 かわいた布でふく



2 電源プラグを差し込み、 作動確認をする (電源プラグについて→P.27 ※1)



「切表示」ランプが、
①で点灯、②で消灯すれば正常です。

警告

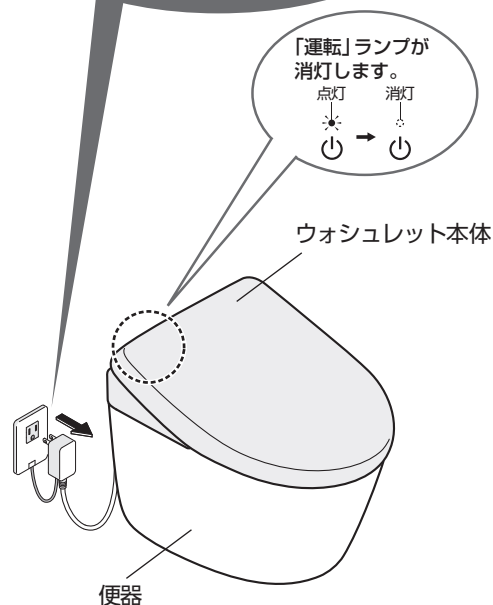
- 電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
 - ・プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
 - ・コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。



警告

- お手入れや点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(感電や誤作動による故障の原因)

お手入れの際は
安全のため
電源プラグを
抜いてください。※1



プラスチック部品には、
かわいた布やトイレット
ペーパーを使わないで
ください。
(傷つきの原因)



※1 「ノズルそうじ」使用時は除く

ウォシュレット本体

ウォシュレット本体 (ふだん)



水でぬらした
やわらかい布

・トイレットペーパー
・かわいた布
・ナイロンたわし (傷つきの原因)

1 電源プラグを抜き、 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

■汚れがひどいときは

- ・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、水ぶきする



×
・シンナー
・ベンジン
・クレンザー

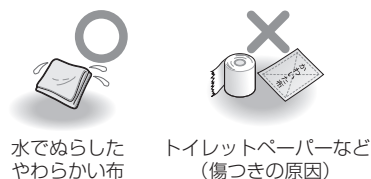
2 電源プラグを差し込む ・「運転」ランプが点灯する

お願い

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入ったり、洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないよう、気をつけてください。
(プラスチックを傷めたり、故障の原因)
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
・便器に残った洗剤はふき取ってください。(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入ることによる、故障の原因)
- ノズルまわりにあるカバーは、無理な力で押したり引っ張ったりしないでください。
(破損や故障の原因)
- 便座裏面や便座クッションなども、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。
(汚れ付着などによる変色の原因)

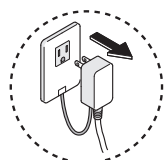
ウォシュレット本体と便器のすき間 (目安: 月に1回)

ウォシュレット本体を取りはずして、
便器の上面や本体の底面をお手入れできます。

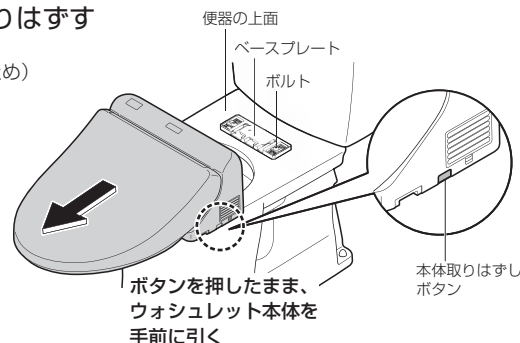


1 電源プラグを抜き、 ウォシュレット本体を取りはずす

- ・無理に引っ張らない
(給水ホース、電源コードがあるため)

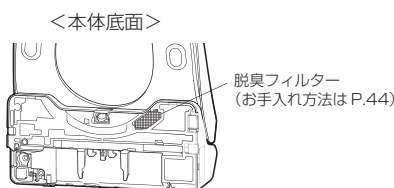


電源プラグを抜かないと、
製品が誤作動し故障や感電
の原因になります。



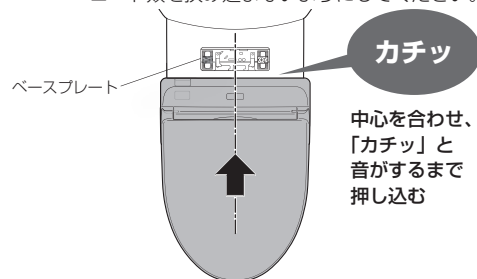
2 便器の上面とウォシュレット本体の 底面をお手入れする

- ・うすめた台所用中性洗剤をふくませた
やわらかい布でふいてから、
洗剤が残らないよう水びきする



3 ウォシュレット本体を取り付ける

- ・ウォシュレット本体とベースプレートの間に、
コード類を挟み込まないようにしてください。



4 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

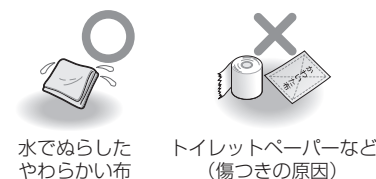
⚠ 注意

- ! ウォシュレット本体は、ベースプレート
に「カチッ」と音がするまで確実に押し
込む
(ウォシュレット本体がはずれて落下する
おそれ)

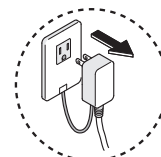
取り付け後、ウォシュレット本体を
手前に引き、はずれないことを確認
する

ウォシュレット本体と便ふたのすき間 (目安: 月に1回)

便ふたを取りはずして、
すみずみまでお手入れができます。



1 電源プラグを抜き、 便ふたを取りはずす



便ふたを少し手前に傾ける

- ①: 左側を外側に広げ
- ②: ヒンジ部を凹部から
はずし引き上げる
- ③: 右側をはずす

2 水でぬらしたやわらかい布を よくしぼって、ふく

3 便ふたを取り付ける

- ④: 右側のピンとヒンジ部を合わせる
- 便ふたを少し手前に傾ける
- ⑤: 左側を広げながら、
- ⑥: ヒンジ部を凹部に合わせ取り付け
※指をはさまないように注意してください。

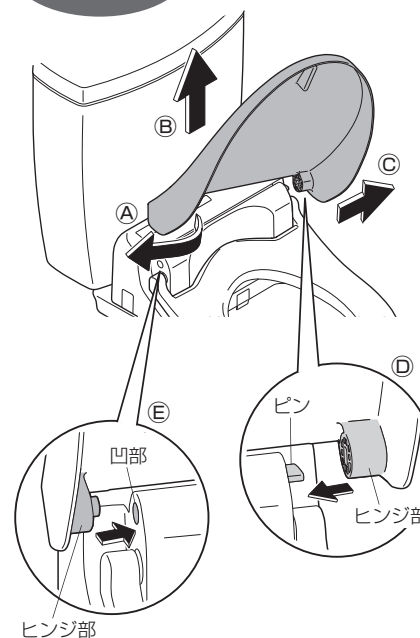
4 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

5 便ふたを開閉して 取り付けを確認する

取りはずし / 取り付けかた

両手で
持つこと



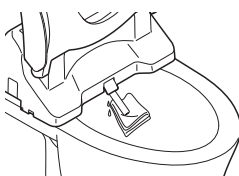
ノズル (目安: 月に1回)

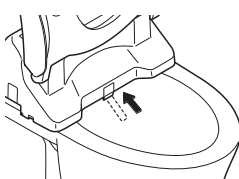
<汚れが気になるとき (ノズルそうじ)>

- 1** ノズルそうじ
入/切 を押す

 - ・ノズルが出て掃除のための水が出る
 - ・約5分後に自動で戻る

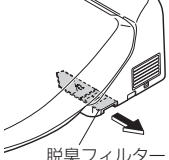
やわらかい布 トイレペーパーなど (傷つきの原因)
- 2** やわらかい布で水ぶきする

 - ・ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、押さえつけたらない (破損や故障の原因)
- 3** ノズルそうじ
入/切 を押す

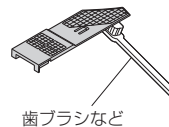
 - ・ノズルが戻る

脱臭フィルター (目安: 月に1回)

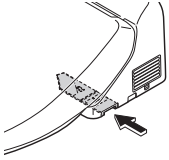
- 1** 電源プラグを抜き、脱臭フィルターを取りはずす

 - ・つまみを持って、外側に引き出す
 - ・無理に引っ張らない (破損や故障の原因)

脱臭フィルター
- 2** 歯ブラシなどで掃除をする

 - ・水洗い時は、取り付け前に水気を取る
 - ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入はP.60)

歯ブラシなど
- 3** 脱臭フィルターを取り付け、電源プラグを差し込む

 - ・「運転」ランプが点灯する

「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

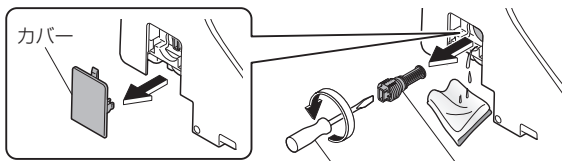


給水フィルター付 水抜栓 (目安: 半年に1回)

<水勢が弱くなったと思ったとき>

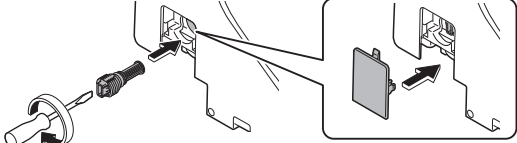
- 1** 止水栓または元栓を閉める (P.4)

 - ・給水が止まる
- 2** ノズルそうじ
入/切 を押し、ノズルを伸出させたあと、
もう一度 ノズルそうじ 入/切 を押してノズルを戻す (給水管の圧抜き)
- 3** 電源プラグを抜く
- 4** カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

 - ・給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめたあと、引っ張る

カバー
ドライバー 給水フィルター付水抜栓
- 5** 歯ブラシなどで掃除をする

 - ・給水フィルター付水抜栓取付穴のゴミも取り除く
 - ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入はP.60)
- 6** 給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

 - ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める
- 7** 電源プラグを差し込む

 - ・「運転」ランプが点灯する
- 8** 止水栓または元栓を開ける (P.29)

設定を変える

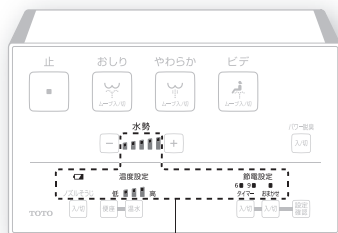
設定一覧

お使いになるかたや
ご家庭の状況に合わせて
便利で使いやすいように
いろいろな設定ができます。

設定を変えるときは、
リモコンランプすべてが
点滅しているか
確認してください！※1



リモコンランプすべてが点滅します。※2



点滅していないと、
設定できません

※1 一部の設定を除く

※2 設定中、約60秒以内に次のボタンを押さないと
点滅が解除されます。
設定完了できなかった場合は、手順1からやり
直してください。

設定の種類				変更できる設定 ・太字は「はじめの設定」	設定のしかた 参照ページ
オート機能	せうけつ	脱臭	・便座に座ってからの脱臭を自動で する/しない	入/切	P.48
		オートパワー脱臭	・立ち上がってからパワー脱臭を自動で する/しない	入/切	
その他設定		電子音	・電子音を 鳴らす/鳴らさない	入/切	

設定を変える

1 
リモコンランプ
すべてが点滅するまで、押す
(約10秒)

せいかつ

便座に座ってからの脱臭を自動で
する/しない
脱臭

2 
押す

押すたびに切り替わる
便座に座ってからの脱臭を自動で
「する」とき  ↔ 「しない」とき 

立ち上ってからパワー脱臭を自動で
する/しない
オートパワー脱臭

2 
押す

押すたびに切り替わる
立ち上ってからパワー脱臭を自動で
「する」とき  ↔ 「しない」とき 

3 
押す
＜設定完了＞

その他設定

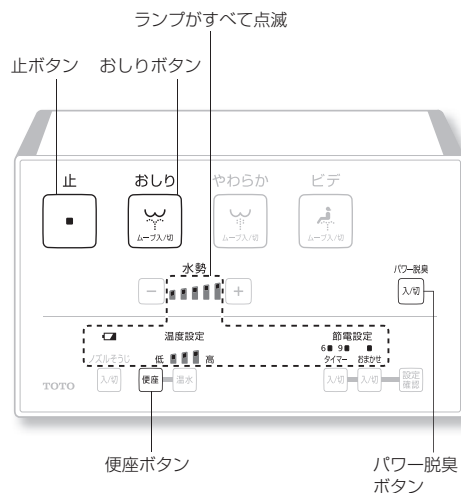
電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音※1

2 
押す

押すたびに切り替わる
電子音を
「鳴らす」とき  ↔ 「鳴らさない」とき 

3 
押す
＜設定完了＞

※1 各設定を変更するときは、電子音を「鳴らす」に設定しておいてください。



こんなときは

断水で水が流せないとき

- 1 バケツで水を流す
- 2 流した後、水位が低くなったら水をつぎ足す
・においを防ぐため

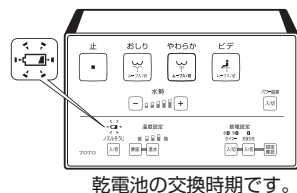


お願い

・断水が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)

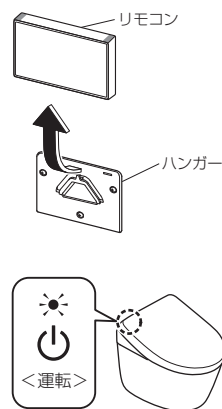
リモコンで操作できないとき

■リモコンの電池切れ予告マーク「」が点滅しているときは、乾電池を交換してください。



■乾電池の交換のしかた

- 1 電源プラグを抜く
・「運転」ランプが消灯する
- 2 リモコンをハンガーから取りはずす
- 3 電池カバーを開け、単3乾電池(2本)を交換する (P.28)
・電池切れ予告マークが消灯する
- 4 リモコンをハンガーに取り付ける
- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する



お願い

・乾電池を交換すると、節電機能など「入」「切」の設定が解除される場合があります。もう一度設定してください。

■電池について

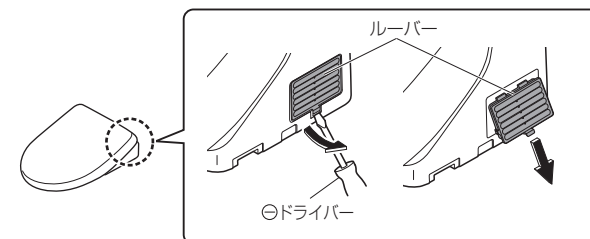
- ・電池は、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ・電池の破裂や液漏れなどを防ぐために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。(P.5、6)

脱臭が弱くなったとき

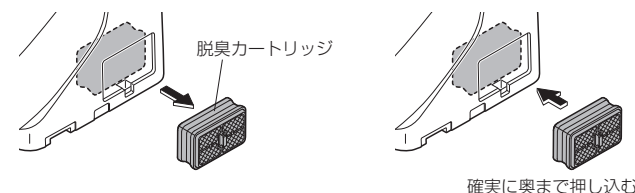
脱臭フィルターを掃除してください。(P.44)

それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.60)

- 1 電源プラグを抜く
- 2 ウォシュレット本体(右側)のルーバーを取りはずす



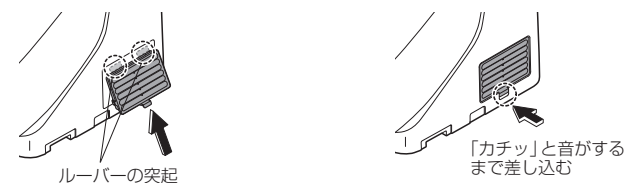
- 3 脱臭カートリッジを取りはずし、新しい脱臭カートリッジを取り付ける



ご注意

・脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

- 4 ルーバーを取り付ける



- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

凍結予防のしかた

1 止水栓または元栓を閉める

- ・給水が止まる

⚠ 注意

- ⊘ 止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が噴き出す原因)

●水抜栓がある場合

- ・水抜栓を操作して給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

2 ロータンクレバーを 大洗浄側に回して ロータンクの水を抜く

- ・水が流れなくなるまで
レバーを回す

3 ノズルそうじ 入切 を押し、ノズルを伸出させた ノズルそうじ

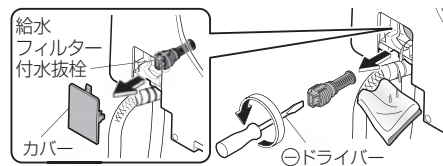
あと、もう一度 入切 を押して

ノズルを戻す (給水管の圧抜き)

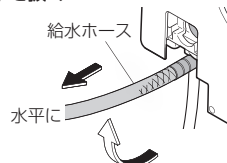
4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く

- ①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす
・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

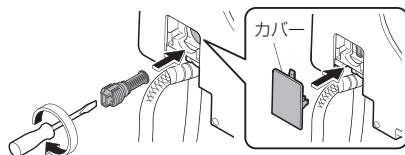


②給水ホースの水を抜く



③水抜きが終わったら、給水フィルター付 水抜栓・カバーを取り付ける

- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 便座温度を「高」にする (P.34)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

- 再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.53)

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)

水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く (P.52 手順 ① ②)

ノズルそうじ

2 入切 を押し、ノズルを伸出させた ノズルそうじ

あと、もう一度 入切 を押して

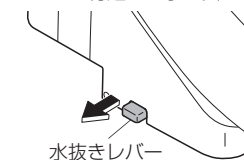
ノズルを戻す (給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

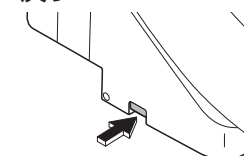
4 配管の水を抜く (P.52 手順 ⑤)

5 水抜きレバーを引き出す

- ・ノズル付近から水が出る (約20秒)



6 手を離し、水抜きレバーを元に戻す



■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水 (封水) に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける、 または水抜栓を操作して給水する

- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

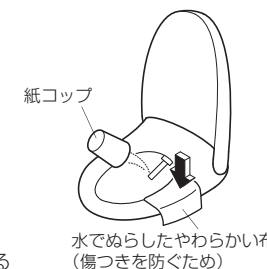
- ・「運転」ランプが点灯する

3 ノズルから水を出す

- ①便座の右側を押したまま、
- ②リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
- ③リモコンの「止」ボタンを押す

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める



必要なとき

故障かな？と思ったら

まず、P.54～56の処置方法をお試しください。
それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTO メンテナンス(株) 修理受付センターにご相談ください。

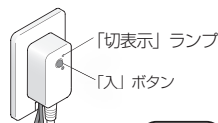


まず、ご確認ください

運転ランプが点灯していますか？

■電源プラグの切表示ランプが点灯していませんか？

→「入」ボタンを押す(ランプ消灯)

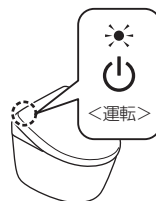


■「運転」ランプが点滅していませんか？

→ウォシュレット本体がきちんと取り付けられていません。
再度取り付けください。(P.42)

■配電盤のブレーカーが入っていますか？

→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する



節電ランプが点灯していませんか？

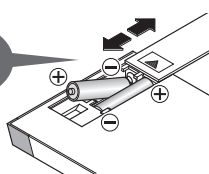
■点灯中は節電中(P.36)のため、便座の温度を下げたり便座ヒーターを切ったりしています。

リモコンで動きますか？

■リモコンの「」が点滅していませんか？

→乾電池を交換する(P.28、50)

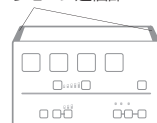
リモコンは乾電池で動いています



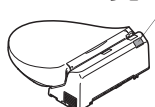
■リモコン送信部やリモコン受信部がふさがれていませんか？

→障害物やゴミ・水滴などを取り除く

リモコン送信部



リモコン受信部



おしり・ビデ洗浄・ノズル

こんなとき

ノズル(洗浄水)が出ない

ご確認ください	参照ページ
●冬場など気温が低いときは、お湯を出す準備のためリモコンのボタンを押してからノズルが出てくるまで時間がかかる場合があります。	—
●約2時間以上連続して座っていませんか？ (安全のため、操作できなくなります。) →一度便座を立ち、再度お使いください。	—
●他で水を使用していたり、断水などにより給水圧が大きく減少すると安全のため機能が停止することがあります。 →電源プラグを抜き、約10秒後に再度差し込んでください。 同じ現象を繰り返すとき→故障の可能性があります。 TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターへ連絡してください。	57
●便座に浅く座ると、着座スイッチが入らない場合があります。 →便座に深く腰かけてお使いください。	7
●便座・便ふたカバー、幼児用便座などを使っていませんか？ →カバーは、はずしてください。 幼児用便座や、やわらか補高便座は、使うたびにはずしてください。	7



ノズルは出るが洗浄水が出ない/洗浄水の勢いが弱い

●断水していませんか？ →「止」ボタンを押し、断水が終わるのを待ってください。	—
●止水栓が閉まっていますか？ →止水栓を全開にしてください。	29
●給水フィルター付水抜栓にゴミが詰まっていますか？ →フィルターを掃除してください。	45
●水勢の設定が弱くなっていませんか？	30

洗浄水が冷たい

●温水温度の設定が「切」または低くなっていませんか？ ●給水温度やトイレ室温が低い場合、吐水ははじめの温水温度が低いことがあります。	34
---	----

途中で止まる

●おしり・やわらか・ビデ洗浄は約5分間連続使用すると自動で止まります。 ●着座スイッチが検知しにくくなっていますか？ →便座に深く腰掛ける。途中で腰を浮かせたり、便座の前よりに座ると、着座スイッチが検知しにくくなり途中で止まる場合があります。	7
---	---

ノズルから勝手に水が出る

●便座に座ると、お湯を出す準備のために数秒間水が出ます。	—
------------------------------	---

便座・便ふた

便座が冷たい

●便座の温度設定が「切」、または低くなっていませんか？	34
●節電中になっていませんか？ ・ウォシュレット本体表示部の「節電」ランプが点灯、「運転」ランプが点灯している場合は、節電がはたらいています。 便座に座ると一時的に便座ヒーターが入り、約15分で温かくなります。 →節電が「入」になっている場合は、「切」に変更することもできます。	36
●便座に長時間座っていませんか？ ・座ってから約20分以上たつと温度が下がり、約1時間以上たつと便座ヒーターが「切」になります。→一度便座を立ち、再度お使いください。	38
●便座・便ふたカバーを取り付けていませんか？→カバーは、はずしてください。	7

故障かな？と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照 ページ
節電	節電ランプが点灯しない	●電源プラグを抜いたり、停電しませんでしたか？ ・節電機能を「入」にしても、電源を入れるとウォシュレット本体表示部の「節電」ランプが消灯することがあります。 (設定は維持しており、約24時間以内に点灯します。)	—
	タイマー節電が作動しない	●リモコンの乾電池を交換しませんでしたか？ ・交換すると、「タイマー節電」が解除される場合があります。 →タイマー節電を開始したい時間に、もう一度設定してください。	38
	おまかせ節電が作動しない	●使用状況を数日学習して節電するので、使用頻度によってはあまり節電しないことがあります。 →節電の種類を確認してください。	36
脱臭	脱臭がきかない	●リモコンの乾電池を交換しませんでしたか？ ・交換すると、設定が解除される場合があります。 →もう一度設定してください。	38
	異臭がする	●「脱臭」が「切」になっていませんか？→「入」にしてください。 ●便座に座っても、作動音が聞こえないとき→便座に深く腰かけてお使いください。 便座に座ると、作動音が聞こえるとき→脱臭フィルターを掃除してください。 それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。	48 — 44 51
	オートパワー脱臭が作動しない	●市販の芳香剤や消臭剤などを使っていませんか？ ・ウォシュレットの脱臭効果が低下したり、異臭がすることがあります。 →芳香剤や消臭剤を取ってください。 それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。	51
その他	配管接続部から水漏れする	●「オートパワー脱臭」が「切」になっていませんか？ →「入」にしてください。 ●便座から立ちあがって約10秒後に作動します。	48 —
	ウォシュレット本体がガタつく	●接続部のナットがゆるんでいたら、モンキーレンチなどできつく締めてください。 →それでも止まらないときは、止水栓を閉め、修理を依頼してください。	57
	ウォシュレット本体から音がする	●便座クッションと便器の間に着座スイッチを作動させるためのすき間を設けています。便座に座ると便座が少し下がり、着座スイッチが入ります。 ●ウォシュレット本体を固定しているボルトがゆるんでいませんか？ →ウォシュレット本体を取りはずしたあと、ベースプレートのボルトをしっかりと固定してください。	— 42
		使用後、便器から離れるとき ●「オートパワー脱臭」が「入」のときは、便座から立ち上がって約2分間、においを吸い込む力をアップするための音がします。 →「切」に変更することもできます。	48

アフターサービス

修理を依頼する前に、「故障かな？と思ったら」(P.54～56)をご確認ください。

■保証書

- 必ず「取付店・販売店、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年となります。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

■部品交換について

- 無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

■保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、品番(TCF…) → 便ふたの裏をご覧ください。
- お買い上げ日 → 保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取扱い】

お客様からお預りした個人情報は関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取扱いします。詳しくはTOTOホームページをご覧ください。

■保証期間経過後に修理を依頼されるとき

- お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

■延長保証制度(有料)について

延長保証料金やお申込み方法などの詳細は、同梱のご案内チラシまたはTOTOホームページをご覧ください。

※一般家庭以外(事務所・店舗・病院など不特定多数の方が使用される場所)での使用の場合は、保証対象外のためお申込みできません。

延長保証制度に関するお問い合わせは、 TOTO(株) 延長保証事務局 へお願いします。
TEL ☎ 0120-100514
受付時間：平日 9:00～17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)
TOTO ホームページ
https://jp.toto.com

定期点検のおすすめ

- 逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
- なお、点検はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼ください。

お問い合わせ先

安心・信頼のTOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休 受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休(一部地域を除く) 営業時間：9:00～18:00

定期点検を行った日付を記入しておきましょう！

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金について【TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合】

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理をさせていただきます。

標準修理料金は **技術料** + **部品代** + **訪問料** で構成されています。

ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

項目		TCF8GS33型
定格電源		交流100V 50/60Hz
定格消費電力		1268W
区分※1		瞬間式
年間消費電力量※2		114kWh/年(150kWh/年)
電源コード長さ		1.0m(漏電保護プラグ、アース線付)
洗浄装置	おしり洗浄	約0.27～0.43L/min(水圧0.2MPaのとき)
	吐水量	約0.27～0.43L/min(水圧0.2MPaのとき)
	やさらか洗浄	約0.27～0.43L/min(水圧0.2MPaのとき)
	ビデ洗浄	約0.29～0.43L/min(水圧0.2MPaのとき)
	吐水温度	温度調節範囲: 切、約35～40℃
	ヒーター容量	1200W
暖房便座	安全装置	温度ヒューズ
	逆流防止装置	バキュームブレーカー、逆止弁
	表面温度	温度調節範囲: 切、約28～36℃(おまかせ節電時: 約26℃)
	ヒーター容量	50W
脱臭装置	安全装置	温度ヒューズ
	方式	O ₂ 脱臭
	風量	標準モード: 約0.09m ³ /min、パワーモード: 約0.16m ³ /min
	消費電力	標準モード: 約1.7W、パワーモード: 約5.3W
給水圧力		最低必要水圧: 0.05MPa(流動時)、最高水圧: 0.75MPa(静止時)
給水温度		0～35℃
周囲使用温度		0～40℃
製品寸法		幅391×奥行531×高さ176mm
製品質量		約4.7kg

※1 省エネ法(2012年度基準)の区分

※2 省エネ法(2012年度基準)に基づいた測定値、()内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

●この製品は、日本国内専用製品です。

■抗菌(※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接触れないと発揮されません。)

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z 2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z 2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、めり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。	抗菌剤の種類 無機系
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズル、リモコン(表面シート・ボタン)	抗菌性持続性 (一社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
		安全性 (一社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
		禁止事項 酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
		取扱注意事項 抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

重大事故防止のお願い

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります



定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

故障したまま使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

温水洗浄便座・暖房便座を安全に使う3つのポイント

1

まず自分で
安全チェックを

2

異常があれば
販売店、工事店
またはメーカー
にご連絡を

3

長期間お使い
の製品は点検と
買い替えを

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- ☐ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある
- ☐ 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている
- ☐ 便座にひびや割れがある
- ☐ 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある
- ☐ 製品から水漏れしている(内部の電子・電気部品が被水)
- ☐ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている(内部の電子・電気部品が被水)
- ☐ 電源コードが熱くなっている
- ☐ 電源プラグの差込部が発熱・変色している

一般社団法人
発行元: **日本レストルーム工業会**

<http://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ 検索



詳細はこちらをご覧ください

経済産業省

一般社団法人
リビングアメニティ協会

交換部品/別売品

●仕様、品番などは、予告なく変更する場合があります。
希望小売価格などの詳細は、TOTOWeb ショップをご確認ください。
<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>



交換部品

■給水フィルター付水抜栓 (P.45)



品番	TCM1790
----	---------

■脱臭フィルター (P.44)



品番	TCM2234
----	---------

■便座クッション (P.8)



品番	TCM1792
----	---------

■脱臭カートリッジ (P.51)



品番	TCM1788
----	---------

■便ふたクッション (P.8)



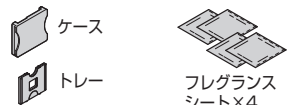
品番	TCM2296
----	---------

別売品

■フレグランスセット

心地よい香りでトイレを演出
芳香剤を置かなくても、トイレを使うときだけ自動でほのかに香ります。

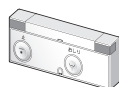
＜フレグランス後付けキット(4枚入り)＞
ケースを脱臭排気口に取り付けて、
フレグランスシート*1を入れたトレーを
差し込みます。



セット内容	フレグランスシート……4枚 フローラル×1 石けん ×1 ウッディ ×1 シトラス ×1 ケース……………1個 トレー……………1個
品番	TCA238

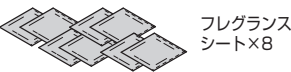
■らくらくリモコン

付属のリモコンとの併設が必要です。



品番	TCA340
----	--------

＜フレグランス後付けキット詰替え用(8枚入り)＞
フレグランスシート*1の詰替えセットで
す。必ず専用のフレグランスシートを
お求めください。



セット内容	フレグランスシート……8枚 フローラル×2 石けん ×2 ウッディ ×2 シトラス ×2
品番	TCA239

■クッション (取付説明書付)

便ふたが窓枠・壁などに
当たる場合、当たり音
軽減に。



品番	TCA301
----	--------

■トレー



品番	TCM2085
----	---------

※1 交換の目安は約30日間です。(一般家庭で標準的な使用条件にて使用の場合)

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター(裏表紙参照)でご購入の場合

■お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。
※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。
あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け
予定日をご連絡いたします。

■お支払いについて

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。
送料につきましては、別途TOTOパーツセンターへお問い合わせください。

■返品・交換について

交換部品の不良などによる返品、交換については、商品到着後8日以内に
TOTOパーツセンターまでご返送ください。
送料はTOTOパーツセンターが負担し商品を送付させていただきます。
お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後8日以内に
TOTOパーツセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担とな
りますのでご了承ください。お客様の元で、汚れたり破損した商品や、
一度ご使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらか
じめご了承ください。

製品の安全使用/ご愛用者登録

製品の長期使用に関する本体表示について

1 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがある事を注意喚起するために、以下の内容の表示をウォシュレット本体に行っています。

- 製造年(便ふたの裏面などに西暦4桁で表示しています。)
- 注意表記(便ふたの裏面などに下記の表記を表示しています。)



【想定安全使用期間】10年(一般家庭用に設置された場合)
想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

2 想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無料保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外(事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3 標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	機器の定格電圧/周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
付加条件	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A4422 による
	定格負荷	製品仕様による 標準設置状態	JIS A4422 による
想定条件	4人家族(男性2人、女性2人)において、大便:1回/日・人、小便男性:4回/日・人、小便女性:4回/日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている		

4 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

ご愛用者登録のお願い

未永くご愛用いただくためにお客様情報の登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は製品安全に関する大切なお知らせや、暮らしに役立つ情報の提供に使用させていただきます。なお、お客様の個人情報は当社プライバシーポリシーに基づいて適切に管理、取り扱いさせていただきます。詳細はTOTOホームページをご覧ください。

登録のしかた



※表示位置は、機種により異なります。

対応の端末機器をお持ちの方は、商品からアクセスし、画面の案内に従って登録してください。

※複数台登録が可能です。
※通信料はお客様負担となります。

インターネットでも登録できます。

TOTO ホームページにアクセスし、お客様サポートの「製品のご登録」より画面の案内に従って登録してください。

※複数台登録が可能です。

TOTOホームページ
<https://jp.toto.com>

登録に関するお問い合わせは、
TOTO(株) ご愛用者登録相談室 へお願いします。

TEL ☎ 0120-55-1172

受付時間: 平日9:00~17:00

(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

定期的な点検

製品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。
経年劣化による重大事故（火災、感電、やけど、けが、水漏れなど）を防止し、製品をより長く、安全・快適にお使い
いただくために、お客さま自身による以下の点検を年1回以上実施いただきますようお願いいたします。

ウォシュレット本体

- ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色がありませんか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？
- 水漏れがありませんか？
- 正常に作動していますか？

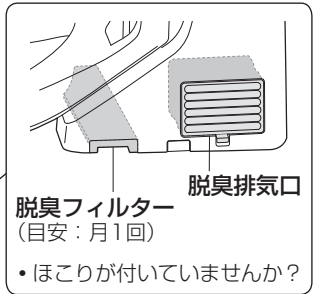
リモコン

- 乾電池が破裂・液漏れしていませんか？



便ふた

- ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色がありませんか？
- 正常に作動していますか？



脱臭フィルター
(目安：月1回)

- ほこりが付いていませんか？

電源プラグ

(目安：月1回)

- ほこりが付いていませんか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？

電源コード

- 傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりがありますか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？

止水栓

- 水漏れがありませんか？
- 傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりがありますか？

給水ホース

- 電源プラグに接触していませんか？
- 傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりがありますか？
- 水漏れがありませんか？

便座

- ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色がありませんか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？
- 正常に作動していますか？
- 便座クッションがはずれていませんか？

点検箇所	実施日(年・月・日)		
ウォシュレット本体	/ /	/ /	/ /
リモコン	/ /	/ /	/ /
電源プラグ	/ /	/ /	/ /
電源コード	/ /	/ /	/ /
止水栓	/ /	/ /	/ /

点検箇所	実施日(年・月・日)		
便ふた	/ /	/ /	/ /
脱臭排気口	/ /	/ /	/ /
脱臭フィルター	/ /	/ /	/ /
便座	/ /	/ /	/ /
給水ホース	/ /	/ /	/ /

MEMO